2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	豊村晃丞/村上弘志
	(Carrier Planning I)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日・3時限/木曜日・5時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。

※担当教員実務経験:該当なし

【到達目標】

- ・セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
- ・チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
- ・自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる
- ・目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる
- ・自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 1年間の流れ確認(学生便覧)、クラス規範確認・目標決め①、学習能力チェックプログラム
2回目	セルフマネジメント① 1週間の振り返り、「習慣」プリント配布～8つの習慣～、クラス目標決め②
3回目	セルフマネジメント② GWの過ごし方～1週間をどう過ごすのか～、安全講習～動画(サイバー犯罪編)～
4回目	セルフマネジメント③ GWの振り返り
5回目	チームマネジメント① 学園祭準備活動①
6回目	チームマネジメント② 学園祭準備活動②、日常行動スコア～クラスの中の自分の役割を知る～
7回目	グループワーク① 学園祭準備活動③、「ホスピタリティ」について
8回目	グループワーク② 学園祭の振り返り
9回目	グループワーク③ 「私は建築家」～聴く力を持つ～
10回目	グループワーク④ 夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク: 成功の原則～卒業生たちから見る行動の原則～、クラス目標の達成度確認
12回目	グループワーク: 夏休みの取り組みの振り返りとこれからの目標設定、スポーツフェスタ準備活動①
13回目	夏休みの振り返り、スポーツフェスタ準備活動②
14回目	評価週、解答解説、スポーツフェスタ準備活動③
15回目	前期振り返りと後期に向けての準備、スポーツフェスタ準備活動④
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学校生活を記録に残す ・動物業界を知る ・動物施設での校外学習に参加する ・事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・集団(クラス)での役割の理解と実践: 50% ・授業参加状況: 30% ・期末試験: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・学生便覧
- ・Hand-book of Life Style

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I (Carrier Planning I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	豊村晃丞/村上弘志
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日・3時限/木曜日・5時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。

※担当教員実務経験: 該当なし

【到達目標】

- ・セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
- ・チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
- ・自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる
- ・目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる
- ・自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	自己理解 ① スポーツフェスタの振り返り、後期に向けた目標確認(学生便覧)
2回目	自己理解 ② 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	自己理解 ③ 履歴書とは、作成方法
4回目	自己理解 ④ 半年を振り返って、自己理解のための振り返り及び目標設定
5回目	自己理解 ⑤ 私の四面鏡～自分の強みを知る～
6回目	企業研究 ① 先輩から学ぶ業界研修について
7回目	企業研究 ② 卒業生から学ぶ業界研修について
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② ガンの群れ～協調性とは～
10回目	「集団での役割」の理解と実践 ① WeareECO準備活動
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ② WeareECO準備活動
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ③ WeareECO準備活動、今年の振り返り～今年の自分を表す漢字を一文字で表現～
13回目	「集団での役割」の理解と実践 ④ WeareECO準備活動、今年の個人目標発表
14回目	WeareECO～調べ学習クラス内発表～
15回目	高校生1年間の振り返り

- 準備学習
時間外学習**
- ・日々の学校生活を記録に残す
 - ・動物業界を知る
 - ・動物施設での校外学習に参加する
 - ・事前課題など各種レポートを書く

- 評価方法**
- ・集団(クラス)での役割の理解と実践: 50%
 - ・授業参加状況: 30%
 - ・期末試験: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・学生便覧
- ・Hand—book of Life Style

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション (Presentation I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	榎本 篤子
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・4時限

【授業の学習内容】

社会人としてまた、目指す業界に必要な、伝える力を身につける。
表現力、自己分析力、チームワーク力をワークを中心に学習

※担当教員実務経験：国家資格1級キャリアコンサルティング技能士、キャリアカウンセラー。教育機関や国の若者就職支援センターでのキャリア教育、相談に従事。また、企業研修や組織でのカウンセリングも行う。コミュニケーションの重要性を重視し、人の成長をサポートする人材教育に幅広く携わっている

【到達目標】

元気な挨拶
相手の立場を考えて話す力
文章組み立て力
周りと協力する力
復習力

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の内容と目標・意義について、評価ポイント、アイスブレイク(コミュニケーションワーク)
2回目	社会人に求められる能力、第一印象の重要性、挨拶・立ち居振る舞い実践
3回目	言語コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて、表情と笑顔の効能、表情の意味・視線伝達ワーク
4回目	非言語コミュニケーションの影響と重要性、声の出し方、滑舌と腹式呼吸
5回目	相手意識を持った伝え方自己表現練習(5W3HとPREP法、感情表現)
6回目	聞くと聴くの違い、きき上手のポイント、立ち居振る舞い実践、目的と目標の違い
7回目	中間テスト発表「私の目標」
8回目	発表「私の好きな○○」、丁寧な話し方のための敬語知識
9回目	一般常識とペア協力ワーク、言葉づかいと敬語について①
10回目	言葉遣いと敬語の使い方②、グループで美化語見つけ、
11回目	チームde協力ワーク、PREP法を用いての発表
12回目	敬語実践会話練習、時間を意識したスピーチ
13回目	PREP法を用いての課題プレゼンテーション披露、発表「私の夏休み」、
14回目	前期評価テスト
15回目	前期の振り返り、期末テスト返却・解説

準備学習 時間外学習	課題により準備学習あり
---------------	-------------

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン力: 40% ・傾聴力: 30% ・筆記試験30%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】

講師オリジナルテキスト

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション (Presentation I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	榎本 篤子
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

社会人としてまた、目指す業界に必要な、伝える力を身につける。
表現力、自己分析力、チームワーク力をワークを中心に学習

※担当教員実務経験：国家資格1級キャリアコンサルティング技能士、キャリアカウンセラー。教育機関や国の若者就職支援センターでのキャリア教育、相談に従事。また、企業研修や組織でのカウンセリングも行う。コミュニケーションの重要性を重視し、人の成長をサポートする人材教育に幅広く携わっている

【到達目標】

前期の目標に続き、更にグループの中の個の役割を果たす努力ができる
会話力やプレゼンテーション力を磨き現状の自分を知り、自信をもって、主体的に人と関わって行けるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	後期の目標設定、滑舌と早口言葉、敬語間違い修正 & 確認
2回目	グループワーク(伝える力と強調力を磨く)
3回目	ペア協力ワーク、豊かな表現力を磨く(オノマトペ)
4回目	他己紹介 自己成長評価
5回目	バーバルコミュニケーションとグループワーク
6回目	ノンバーバルコミュニケーションとグループワーク
7回目	効果的な質問の方法とインタビュー実践、他己紹介準備
8回目	中間評価(他己紹介 自己成長評価)
9回目	仕事遂行能力グループワーク、電話応対について
10回目	四字熟語とオリジナル表現寸劇(ペア協力ワーク)
11回目	電話応対実践(敬語とケース問題)
12回目	1年間の授業内容確認テスト
13回目	一般総復習確認テスト、一年間の成長プレゼン準備
14回目	後期評価テスト
15回目	後期の振り返り、期末評価試験の返却及び解説

準備学習 時間外学習	課題により準備学習あり
---------------	-------------

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン力: 40% ・傾聴力: 30% ・筆記試験30%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】

講師オリジナルテキスト

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション (Presentation I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田代マキ
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

社会人としてまた、目指す業界に必要な、伝える力を身につける。
表現力、自己分析力、チームワーク力をワークを中心に学習

※担当教員: キャリアカウンセラー(技能士2級)、精神保健福祉士、公認心理師、学校関係へのキャリア教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダーシップの在り方まで、働く人の心と職場環境を整える活動を展開している。

【到達目標】

元気な挨拶
相手の立場を考慮して話す力
文章組み立て力
周りとの協力する力
復習力

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の内容と意義について
2回目	なぜ学校で学ぶのか? グループワーク討議・伝え方のポイント
3回目	言語コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて
4回目	表情の意味・視線伝達マーク
5回目	相手意識を持った伝え方自己表現練習
6回目	聞くと聴くのの違いと、聞き上手のポイント
7回目	他己紹介準備
8回目	他己紹介
9回目	報告の仕方・PREP法を身につける。
10回目	PREP法を用いての課題プレゼンテーション準備
11回目	PREP法を用いての課題プレゼンテーション披露
12回目	言葉遣いと敬語の使い方①グループで美化語見つけ
13回目	言葉遣いと敬語の使い方②敬語を使用する場面練習
14回目	前期評価テスト
15回目	前期の振り返り

準備学習 時間外学習	課題により準備学習、振り返り学習あり
---------------	--------------------

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン力: 40% ・傾聴力: 30% ・筆記試験: 30%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】

講師オリジナルテキスト

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション (Presentation I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田代マキ
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・5時限

【授業の学習内容】

社会人としてまた、目指す業界に必要な、伝える力を身につける。
表現力、自己分析力、チームワーク力をワークを中心に学習

※担当教員実務経験:キャリアカウンセラー(技能士2級)、精神保健福祉士、公認心理師。学校関係へのキャリア教育や企業研修を通して社会人基礎力や管理職研修を行い、就職支援からリーダーシップの在り方まで、働く人の心と職場環境を整える活動を展開している。

【到達目標】

前期の目標に続き、更にグループの中の個の役割を果たす努力ができる
会話力やプレゼンテーション力を磨き現状の自分を知り、自信をもって、主体的に人と関わって行けるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	後期の目標設定
2回目	ストレス対策 性格の作られ方
3回目	効果的な質問の方法 他己紹介後期編準備
4回目	他己紹介 自己成長評価
5回目	バーバルコミュニケーションとグループワーク
6回目	ノンバーバルコミュニケーションとグループワーク
7回目	中間評価
8回目	仕事遂行能力ペアワーク
9回目	仕事遂行能力グループワーク
10回目	グループワークディスカッションと発表(意見とアイデア)
11回目	グループワークディスカッションと発表(課題解決)
12回目	一年間の成長プレゼン①
13回目	一年間の成長プレゼン②
14回目	前期評価テスト
15回目	前期の振り返り

準備学習
時間外学習 課題により準備学習、振り返り学習あり

評価方法
・プレゼン力:40%
・傾聴力:30%
・筆記試験:30%

【使用教科書・教材・参考書】

講師オリジナルテキスト

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
	Improving Communication Skills	授業形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業		2	曜日・時限	水曜日・1時限/木曜日・3時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※担当教員実務経験：各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施する。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指すと共に、豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の進め方、オリエンテーション(自己紹介)、コミュニケーションの定義【P9～】
2回目	第一印象(コミュニケーションの定義、メラビアン ^① の法則、笑顔の作り方)【P14～】 基本的対話スキル、会話のプロセス
3回目	基本的対話スキル「話し方」【P18～】
4回目	基本的対話スキル「聴き方」【P23～】
5回目	基本的対話スキル「グループでの会話」【P34～】
6回目	ローブレ：情報共有、整理・集約のゲーム①、中間試験対策
7回目	中間試験、自己表現スキル「挨拶」「自己表現」【P42～】
8回目	中間評価フィードバック、自己表現スキル「上手な頼み方、断り方」「自己主張」【P46～】
9回目	自己表現スキル「報連相」「会議・ミーティング」【P60～】
10回目	自己表現スキル「アンガーマネジメント」【P80～】
11回目	社会的スキル「基本的な社会的スキル」【P94～】
12回目	社会的スキル「挨拶」「敬語」「電話対応」【P96～】
13回目	前期評価テスト 対策
14回目	前期評価テスト 実施 試験後、教科書のポイントを再度伝え、内容を理解させる
15回目	前期評価テスト 解説 後期の授業の進め方

準備学習
時間外学習

次週の授業内容の範囲を、教科書を読み、わからない言葉・言い回しを抜き出しておく

評価方法

・試験：100%

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
	Improving Communication Skills	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日・1時限/木曜日・3時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※担当教員実務経験：各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施する。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指すと共に、豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ロープレ:ビジネス電話検定、電話対応ゲーム
2回目	社会的スキル「接客」「訪問」【P105～】
3回目	社会的スキル「謝罪」【P112～】
4回目	ロープレ:接客、訪問、名刺交換
5回目	社会的スキル「ビジネス文書」「メール」「FAX」「SNS」【P116～】
6回目	中間試験対策
7回目	中間試験、サービスマインドとは
8回目	中間評価フィードバック DVD鑑賞 マナーの本質「相手を思いやる心」
9回目	サービスマインド「サービスとは」「サービスの心得」【P126～】
10回目	サービスマインド「サービス基本要素」【P132～】
11回目	ロープレ:ビジネスシュミレーションゲーム(敬語・電話対応・訪問・接客)
12回目	謝罪(謝る、お詫びする) マナーを意識した行動
13回目	後期期末試験対策
14回目	後期期末試験、ビジネスシュミレーションワーク
15回目	1年間の総復習、ロープレ

準備学習
時間外学習

次週の授業内容の範囲を、教科書を読み、わからない言葉・言い回しを抜き出しておく

評価方法

・試験:100%

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習 (Computer Skills Practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	千葉恵一
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・2時限/3時限

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
 後期は「Excel」を使い「計算式が入った表」や「読みやすいグラフの作り方」を勉強していく
 Excelへの苦手意識を少しでも減らす講義にする
 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※実務者経験

滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(23年)

【到達目標】

Excelへの苦手意識を少しでも減らし、
 教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる
 Excelを使って計算式が入った表やグラフが作成出来るようになる
 「We are ECO」のスライドを作成することが出来るようになる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション/ITリテラシー①
2回目	ITリテラシー②
3回目	Wordの基本操作①
4回目	Wordの基本操作②
5回目	Wordの基本操作③
6回目	Wordの基本操作④
7回目	Wordの基本操作⑤
8回目	Word中級編①
9回目	Word中級編②
10回目	Word中級編③
11回目	Wordの応用①
12回目	Wordの応用②
13回目	Wordの応用③
14回目	期末評価/Wordの応用まとめ
15回目	PowerPoint基礎①

**準備学習
時間外学習** 課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい)
 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。
 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認する

評価方法

- ・小テスト: 20%
- ・中間評価テスト: 30%
- ・期末テスト: 50%

※中間・期末の評価は提出作品 (PowerPoint作品提出・Excel作品提出)

【使用教科書・教材・参考書】

Word office365&2021 COMPUTER BASIC of Windows (株式会社滋慶出版)
 Excel office365&2021 COMPUTER BASIC of Windows (株式会社滋慶出版)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習 (Computer Skills Practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	千葉恵一
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
 後期は「Excel」を使い「計算式が入った表」や「読みやすいグラフの作り方」を勉強していく
 Excelへの苦手意識を少しでも減らす講義にする
 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※実務者経験

滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(23年)

【到達目標】

Excelへの苦手意識を少しでも減らし、
 教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる
 Excelを使って計算式が入った表やグラフが作成出来るようになる
 「We are ECO」のスライドを作成することが出来るようになる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	PowerPoint基礎(印刷、スライドマスター、切り替え効果、アニメーション)
2回目	PowerPoint課題提出
3回目	Excelの基礎①
4回目	Excelの基礎②
5回目	Excelの基礎③
6回目	Excelの基礎④
7回目	Excel中級編①
8回目	Excel中級編②
9回目	Excel中級編③
10回目	Excel中級編④
11回目	Excelの応用①
12回目	Excelの応用②
13回目	Excelの応用③
14回目	期末評価/Excel応用まとめ
15回目	まとめ(Word・Excel・PowerPoint)

**準備学習
時間外学習**

課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい)
 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。
 授業後の内容確認として、パソコン操作のを確認する

評価方法

- ・小テスト:20%
- ・中間評価テスト:30%
- ・期末テスト:50%
- ※中間・期末の評価は提出作品(PowerPoint作品提出・Excel作品提出)

【使用教科書・教材・参考書】

Word office365&2021 COMPUTER BASIC of Windows (株式会社滋慶出版)
 Excel office365&2021 COMPUTER BASIC of Windows (株式会社滋慶出版)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アニマルベーシック (Animal Study Basic)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西嶋武頼
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

動物業界の職業に携わるために必要な知識を学ぶ上で学んでおきたい生物学の基礎的な内容について、生物知識、動物医療、飼育現場、環境保全等の観点から解説します。

【到達目標】

1. 生物の進化や分類、血液、公衆衛生、濃度計算など、動物に関する基礎知識や技能について、理解し、説明できる。
2. 動物の生体防御システムや内分泌など動物医療に関連する内容について理解し、説明できる。
3. 栄養素や遺伝・DNAと、それに関連するバイオテクノロジーなど、動物の飼育現場で必要とされる知識について理解し、説明できる。
4. 生物多様性の重要性や外来種・絶滅危惧種、地球環境の問題、保全に関する法律や条約について理解し、説明できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション、生物知識①(進化・分類・光合成・食物連鎖)
2回目	生物知識②(血液・公衆衛生・濃度計算)
3回目	動物医療(生体防御・内分泌)
4回目	飼育現場①(栄養素・遺伝)
5回目	飼育現場②(DNA・バイオテクノロジー)
6回目	環境保全①(生物多様性・外来種、絶滅危惧種)
7回目	環境保全②(環境問題・エコロジー、関係法規)
8回目	期末レポート作製
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

**準備学習
時間外学習**
講義内容に該当する教材のページ、授業資料の内容の復習(授業で扱った分野の内容について、背景・知識を理解し、自分の言葉で説明できるようになることを目指してください)。期末試験に加えて、全6回授業内確認テストを行いますので、毎回の授業内容の復習を心掛けてください。興味関心に従い、授業内容以外の自主的な学習を推奨します。授業内容についてはもちろん、発展的内容に関する質問も歓迎します。

評価方法
・出席:30%
・授業内確認テスト:20%
・レポート:50%
※その他、講義受講態度、講師の質問に対する回答意欲なども成績に加味します。

【使用教科書・教材・参考書】

ECO業界で役立つ基礎生物(株式会社滋慶出版)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の体のしくみ (Animal Anatomy and Physiology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高田 真理子
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日・3時限/4時限

【授業の学習内容】

動物の骨格や外皮系、各臓器の正常な状態(形・位置・色・機能など)について学ぶ。体のしくみを理解することで問題と対策方法がわかる。教科書には、その部分に多い病気についても記載があるので、正常な機能と比較をしながら解説をしていく。

※担当教員実務経験: 家畜保健衛生所にて約2年、国営海の中道海浜公園にて約30年、獣医師として従事。

【到達目標】

- ①各臓器の正常な形・位置・色・機能などを理解し、説明することができる。
- ②各臓器の正常(健康)時と異常(病気)時の違いを比較し、説明することができる。
- ③現場で動物の健康チェックを行う時に、異常に気づくことができる 病気の動物に対するケアに活用することができることを目標とする。

授業計画・内容

1回目	授業の進め方、骨格について①
2回目	骨格について② 筋肉について①
3回目	筋肉について② 外皮について
4回目	消化器について①
5回目	消化器について②
6回目	消化器について③
7回目	泌尿器について
8回目	呼吸器について
9回目	循環器について①
10回目	循環器について②
11回目	感覚器について
12回目	神経系について
13回目	動物の体のまとめ
14回目	期末評価試験、振り返り
15回目	期末評価試験の返却及び解説 これまでの振り返り

準備学習 時間外学習	授業内容はノートにまとめ知識習得に努める。 授業後には教科書やノートを見返し復習すること。
評価方法	・筆記試験: 70% ・授業内評価(課題への取り組み、レポートの等): 30%

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶教育科学研究所「イラストで見る動物の体のしくみ」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の健康管理 (Animal Health Management)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高山 清次
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	遠隔授業			曜日・時限	週1回のオンデマンド配信

【授業の学習内容】

動物を飼育するための飼育管理方法、病気やその予防法を理解することを目的とする。

※担当教員: 麻布大学獣医学部博士課程修了(獣医学博士)

【到達目標】

- ①健康チェックを行うときの具体的な方法と判断基準について理解できる、予防の内容と注意点について理解できる。
- ②健康チェックを動物に行うことができる。
- ③動物の変化に気づくことができる、動物を病気にさせない環境をつくり、病気にさせないための対策を立てることができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の目的、進め方
2回目	動物園動物の健康管理の特徴①
3回目	動物園動物の健康管理の特徴②
4回目	動物園動物の健康管理の特徴③
5回目	動物園動物の健康管理の特徴④
6回目	動物園動物の健康管理の特徴⑤
7回目	水族館動物の健康管理について①
8回目	水族館動物の健康管理について②
9回目	ペット系動物の健康管理について①
10回目	ペット系動物の健康管理について②
11回目	ペット系動物の健康管理について③
12回目	産業動物の健康管理について①
13回目	産業動物の健康管理について②
14回目	期末評価試験、振り返り
15回目	期末評価試験の返却及び解説 これまでの振り返り
準備学習 時間外学習	視聴後はレポートを提出(質問等を含む)。次回視聴の際、前回の質問について回答する。 テキストの範囲内を予習・復習すること。
評価方法	・定期試験の結果: 80% ・レポート提出: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶教育科学研究所「イラストで見る動物の飼養管理」
参考書: 社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アニマルヒストリー <small>(History of Interconnections between Animals and Humans)</small>	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福井 智太
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

民族や宗教、歴史等の観点から人と持佛の関りに関して考え、説明できるようになる。

※担当教員実務経験：2009年から3年間、九州自然動物園アフリカンサファリに勤務。ふれあいゾーンにて小動物、中型・草食動物、家畜動物の飼育とふれあい業務および、サファリゾーンにて中型～大型草食動物、アメリカクロクマなどの飼育展示業務を経験。
2012年から10年間、到津の森公園に勤務。日本産動物(小型哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、淡水魚類)、大型草食動物、大型肉食動物、類人猿、霊長類、鳥類の飼育展示業務および、来園者向けの環境学習、体験型講座、企画展など学習イベントの企画・運営業務を経験。飼育1班(大型動物・特定動物担当)の班長業務を経験。

【到達目標】

- ・野生動物と人の関わりから始まり、動物の家畜化、愛玩・展示目的での動物飼育と変遷してきた歴史を理解する。
- ・民族や宗教による動物観の違いを学び、動物を取り巻く欧米諸国と日本の思考体系の差を理解する。

授業計画・内容

1回目	シラバスを用いて授業内容の説明、【人と動物の関わり】①狩猟採集生活と牧畜のはじまり
2回目	【人と動物の関わり】②関りの多様化(愛玩動物・アニマルセラピー・作業犬)
3回目	グループワーク「飼育動物の安楽殺の是非」
4回目	【動物観のちがいを】①愛護と福祉
5回目	【動物観のちがいを】②民族の歴史と風土
6回目	【動物観のちがいを】③宗教
7回目	後期評価試験および振り返り
8回目	試験返却、学習内容の総括
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

【使用する教科書】
・アニマルヒストリー

【その他参考資料】
・日本畜産学会若手企画委員会HP(主に「読み物」のページに国内の家畜動物研究者による研究内容紹介あり)
・「動物の家畜化」や「宗教観と動物観」についての書籍など
上記資料を事前、事後学習として読んでおくこと

評価方法

- ・出席率: 30%
- ・授業態度: 20%
- ・評価試験: 50%

【使用教科書・教材・参考書】

【使用する教科書】
・アニマルヒストリー

【その他参考資料】
・日本畜産学会若手企画委員会HP(主に「読み物」のページに国内の家畜動物研究者による研究内容紹介あり)
・「動物の家畜化」や「宗教観と動物観」についての書籍など
・講師オリジナル資料(飼育員在職中に撮影した写真および映像)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物園飼育論 I (Zoo Keeping Theory I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井上 龍介
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・1時限/2時限

【授業の学習内容】

日本動物園水族館協会発行のテキストを基に、動物園の歴史と目的、使用動物の生態、危機管理、分類、学名、個体識別、哺乳類・鳥類・両生爬虫類の生理等について講義、観察、演習、実習を行う。

※担当教員実務経験: 1981年～「海の中道海浜公園 動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他獣舎や展示場の設計にも携わる。動物園における飼育技術を現場で実践している。

【到達目標】

動物園における動物飼育技術の基礎となる知識を修得し、学習者は毎回の講義内容の主な項目について概要を説明できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	動物園の歴史と存在意義、日本動物園水族館協会の活動(新飼育ハンドブック③)
2回目	動物の生態Ⅰ: 分布と生態、動物園の関わり(新飼育ハンドブック③)
3回目	動物の生態Ⅱ: 国内種の分布と生態、動物園の関わり(新飼育ハンドブック⑤)
4回目	危機管理Ⅰ: 事故防止と脱出防止(新飼育ハンドブック⑤)
5回目	危機管理Ⅱ: 飼育従事者の感染症予防(新飼育ハンドブック③)
6回目	動物の分類: 分類学、国際動物命名規約、個体の識別(新飼育ハンドブック③)
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	哺乳類の生理Ⅰ: 消化と吸収、体温と代謝エネルギー量(新飼育ハンドブック③)
9回目	哺乳類の生理Ⅱ: 神経、血液、呼吸、感覚器官、内分泌と繁殖(新飼育ハンドブック③)
10回目	鳥類の生理Ⅰ: 羽毛、消化と吸収、体温、気嚢と肺(新飼育ハンドブック③)
11回目	鳥類の生理Ⅱ: 神経、血液、感覚器官、内分泌と繁殖生理(新飼育ハンドブック③)
12回目	鳥類の生理Ⅲ: 有精卵の観察、ふ卵器の構造と操作実習(新飼育ハンドブック③)
13回目	両生類、爬虫類の生理: 消化と吸収、体温と代謝エネルギー量(新飼育ハンドブック③)
14回目	昆虫の生理: 体のしくみ、感覚器官、繁殖、ミツバチのコミュニケーション(新飼育ハンドブック③)
15回目	前期評価試験及び振り返り
準備学習 時間外学習	授業前までにハンドブックまたは他資料の該当するページを読み込み予習する。 また、授業内容はノートにまとめ知識習得に努める。 調べ学習等の課題に取り組み提出する。
評価方法	・筆記試験: 70% ・授業内評価(課題への取り組み、小テスト): 30%

【使用教科書・教材・参考書】

社団法人 日本動物園水族館協会「新飼育ハンドブック動物園編①、③、⑤」、オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物園飼育論 I (Zoo Keeping Theory I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井上 龍介
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・1時限/2時限

【授業の学習内容】

日本動物園水族館協会発行のテキストを基に、動物園の歴史と目的、使用動物の生態、危機管理、分類、学名、個体識別、哺乳類・鳥類・両生爬虫類の生理等について講義、観察、演習、実習を行う。

※担当教員実務経験: 1981年～「海の中道海浜公園 動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他獣舎や展示場の設計にも携わる。動物園における飼育技術を現場で実践している。

【到達目標】

動物園における動物飼育技術のより実践的知識を修得し、学習者は毎回の講義内容の主な項目について概要を説明できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	繁殖管理Ⅰ: 繁殖関係資料の見方(新飼育ハンドブック①、資料編)
2回目	繁殖管理Ⅱ: 個体カードと近交劣化対策(新飼育ハンドブック①)
3回目	繁殖管理Ⅲ: 繁殖行動の観察と出産予定日の計算(新飼育ハンドブック①)
4回目	飼料給餌Ⅰ: 給餌一覧表の見方(新飼育ハンドブック①)
5回目	飼料給餌Ⅱ: 飼料の種類と栄養(新飼育ハンドブック①)
6回目	飼料給餌Ⅲ: 給餌表作成演習(新飼育ハンドブック①)
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	病気の予防と対応Ⅰ: 病気けがの種類(新飼育ハンドブック①)
9回目	病気の予防と対応Ⅱ: 予防と日常観察の方法(新飼育ハンドブック①)
10回目	病気の予防と対応Ⅲ: 発生時の対応(収容、治療等)(新飼育ハンドブック①)
11回目	トレーニング: 動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
12回目	展示と環境エンリッチメント: 動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
13回目	教育、研究、広報: 動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
14回目	動物園に関する条約、法令、団体(JAZA雑誌 Vol50～60)
15回目	後期評価試験及び振り返り

準備学習 時間外学習	授業前までにハンドブックまたは他資料の該当するページを読み込み予習する。 また、授業内容はノートにまとめ知識習得に努める。 調べ学習等の課題に取り組み提出する。
---------------	--

評価方法	・筆記試験: 70% ・授業内評価(課題への取り組み、小テスト): 30%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】

社団法人 日本動物園水族館協会「新飼育ハンドブック動物園編①、③、⑤」、オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	畜産飼養 (Livestock Breeding)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林 洋一
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・3時限/4時限

【授業の学習内容】

前期授業の範囲では、人類と家畜との出会い、国内における産業としての畜産の現状、家畜の体のしくみ(解剖、生理等)、飼育管理に必要な知識の総括的な理解を深め、畜産の産業構造、業務実態、職業人としての行動規範、などについて学習します。
畜産業について、畜産物の流通・規格・品質管理、生産管理、作業衛生管理、リスク管理、コンプライアンスの概括についても学習します。

※ 担当教員実務経験・資格:

JA全農の獣医師として、産業動物の生産性向上、疾病予防に関する実務経験多数。元全農飼料畜産中央研究所長
資格:獣医師(北海道大学獣医学部卒)、第一種衛生管理者(労働安全衛生法)、畜産環境アドバイザー(尿処理)

【到達目標】

家畜の品種と特徴、特徴的な体の仕組み、飼育管理の方法や、国内の畜産産業の概要について理解する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	講座の序論と教科内容の説明(講師紹介、講師の畜産生産・販売に関する特徴的な経験談をなど)
2回目	畜産の起源と発展(人類の進化とアフリカ、家畜となる野生動物との出会い、家畜の品種改良、生産性向上の歴史など)
3回目	近代的な畜産技術(効率的な家畜飼養を実現する仕組みと安全・安心な畜産物の生産技術など)
4回目	数字で見る畜産生産(農水省統計を元に過去と現在の産業構造の解説と、職業としての畜産の将来展望など)
5回目	家畜の体の仕組み(動物の細胞、組織、器官、臓器の構造・機能など)
6回目	畜種別の特徴(畜種別の繁殖管理、育成、高品質畜産物の生産手法など)
7回目	畜産の立地、施設(効率的に家畜を飼育するための好適な農場の立地、施設、家畜飼養環境管理技術など)
8回目	飼料栄養(家畜に良好な成長をもたらす高品質な飼料原料を用いた飼料製造、給餌・給水方法など)
9回目	採卵鶏の生産方式(採卵鶏の品種、育成、産卵生理、鶏卵の構造・特長など)
10回目	肉用鶏の生産方式(肉用鶏の品種、育成、大規模生産集団による効率的な生産方法、食鳥処理、鶏肉の特長など)
11回目	養豚生産方式(豚の品種とライフサイクル、育成、SPF豚、食肉処理、医療応用など)
12回目	肉用牛の生産方式(肉用牛の品種、繁殖、育成、食肉処理、BSEと生産履歴管理など)
13回目	乳用牛の生産方式(乳用牛の品種、繁殖、育成、泌乳生理、牛乳生産管理など)
14回目	前期末試験
15回目	前期末試験結果と答え合わせ

準備学習
時間外学習 使用テキスト(家畜飼育の基礎)の事前の読み込みにより、理解をより一層、深めることができるので、日常的な予習が望ましい。
授業前後の質問も、気軽に行ってください。

評価方法
・期末試験の点数:80%
・授業参加度:20%

【使用教科書・教材・参考書】

担当教員が制作したパワーポイント、および印刷資料による学習

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	畜産飼養 (Livestock Breeding)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林 洋一
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・3時限/4時限

【授業の学習内容】

後期授業の範囲では、畜産の生産阻害要因として重要な、家畜疾病とその発生原因、予防手段について学習します。家畜が疾病を免れる為に重要な免疫についての学習は、動物間および人と動物の間での感染(人獣感染:ズーノーシス)においても重要な学習項目です。家畜の生産物である卵、肉、牛乳について、実際の加工、流通についての知識を習得します。併せて、農場管理業務の実際や、経営管理、法の遵守、動物愛護、コンプライアンス等の仕事をする上で重要な行動規範の習得を目指します。畜産と耕種農業を繋ぐ、循環型農業の理解はSDG'sの実現という意味で、地球の環境保全にとって重要です。

※ 担当教員実務経験・資格:

JA全農の獣医師として、産業動物の生産性向上、疾病予防に関する実務経験多数。元全農飼料畜産中央研究所長
資格:獣医師(北海道大学獣医学部卒)、第一種衛生管理者(労働安全衛生法)、畜産環境アドバイザー(尿処理)

【到達目標】

家畜の品種と特徴、生産物の特長、飼育に必要な資材と作業の理解、健康管理、疾病、繁殖について、畜産現場に必要な知識を学び、理解する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	糞尿処理と循環農業 (生活環境や水系に負荷をかけずに糞尿を再処理する技術と、糞尿の窒素、りんを活用した循環農業の実現など)
2回目	病原体と免疫・検査 (動物の感染症と健康を守るための健康力を上げる方法、免疫現象の説明)
3回目	鶏病の予防と治療 (鶏の感染症と対策-鳥インフルエンザなど)
4回目	豚病の予防と治療 (豚の感染症と対策-口蹄疫、豚熱など)
5回目	牛病の予防と治療 (牛の感染症と対策-口蹄疫、牛肺疫など)
6回目	衛生管理システム (家畜の生産能力を最大限に発揮するための具体策など)
7回目	鶏卵・鶏肉の流通と品質管理 (安全・安心を消費者に届けるための鶏卵・鶏肉の規格・流通システムなど)
8回目	豚肉の流通と品質管理 (安全・安心を消費者に届けるための豚肉の規格・流通システムなど)
9回目	牛肉・牛乳の流通と品質管理 (安全・安心を消費者に届けるための規格・流通システムなど)
10回目	養豚農場の業務管理 (畜産農場の例として養豚農場を用いて実際に運用されているシステムの紹介など)
11回目	畜産農場の経営管理 (営利事業としての畜産農場を物と金の面からの管理手法、リスク管理など)
12回目	畜産業のルールと法律 (畜産農場を経営する時に遵守すべき法令、アニマルウェルフェア、GAPなど)
13回目	1年の振り返りと職業としての畜産 (畜産を志す人の就職活動等の情報収集等)
14回目	後期期末試験
15回目	後期期末試験結果と答え合わせ
準備学習 時間外学習	使用テキスト(家畜飼育の基礎)や印刷資料の事前の読み込みにより、理解をより一層、深めることができるので、日常的な予習が望ましい。 授業前後には、気軽に質問してください。
評価方法	・期末試験の点数:80% ・授業参加度:20%

【使用教科書・教材・参考書】

担当教員が制作したパワーポイント、および印刷資料による学習

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	エキゾチックアニマル (Exotic Animals)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	安田 桂三
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

小動物の生態、行動、飼育管理法について学び、理解し、お客様に説明できるようになる。

※担当教員実務経験:エキゾチックアニマルペットショップ「GROWING」の創業メンバーとして、店舗の設備、デザインを担当。その後管理業務、接客、取引に関する店舗営業の大部分を担当。水族館や大型ショッピングモール等と協力してのイベント運営などにも従事。現在は生体の販売、繁殖、輸入等に従事。

【到達目標】

現在、一般的に販売されている小動物の生態を飼育目線で理解し、お客様に説明できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション(プロとしての飼育知識、必要なマインドについて)
2回目	エキゾチックアニマルとは(家畜、コンパニオンアニマルとの違い)
3回目	エキゾチックアニマルの生態・飼育方法の調べ方、学び方
4回目	ハムスターの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
5回目	ハムスターの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
6回目	ウサギの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
7回目	ウサギの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
8回目	フェレットの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
9回目	フェレットの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
10回目	フクロモモンガの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
11回目	フクロモモンガの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
12回目	ハリネズミの生態・飼育方法・疾病・お客様からの声
13回目	ハリネズミの生態・飼育方法について、プロ目線でのお客様対応発表
14回目	エキゾチックアニマルを紹介するレポートの概要説明
15回目	レポート提出・講義全体の振り返り、統括

**準備学習
時間外学習**

現在のお客様の多くが、インターネットで飼育方法を調べるため、
 ・生態(原産国、野生での生活、人間との関係性)
 ・飼育方法(温度、湿度管理、餌、必要な機材)
 前記の内容を、授業までにあらかじめ自身で調べておくこと。
 授業で説明した内容と、自身が調べた内容を比較し、お客様にご案内するときに重要なことを復習し考えること。

評価方法

- ・定期試験:70%
- ・授業への参加意欲:30%

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンパニオンアニマル	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	川島 秀樹
	(Companion Animals)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日・2限目/木曜日・4限目

【授業の学習内容】

犬猫の歴史についてはペットショップで生体販売するときに顧客に説明できるよう世界的な流れを学ぶ。また、ショップ以外の動物園他の関連業務でも説明の必要が出てくるのでペット化した流れを習得する。とくに猫は近年の「猫ブーム」とともに飼育家庭が増加傾向にあるため適正な飼育管理ができるよう体のつくりや習性・行動を学ぶとともにワクチンワーク等も「なぜ必要か?」「いつ必要か?」を他者に説明できるよう知識の習得を図る。

※担当教員実務経験:2003年よりペットショップ開業・経営～現在に至る。2001年より日本FP協会所属のファイナンシャルプランナーとしても活動。

【到達目標】

ペットショップはもちろん、他の動物関連職業でも応用できるように犬・猫の家畜化の歴史、本来持つべき行動・習性、その為の体のつくりのほかストレスの少ない飼育管理に必要な知識と適応能力を身に付け、顧客にアドバイスできるようになる。

具体的な目標① 動物(特に犬や猫)の家畜化までの歴史を学び、顧客に説明できるようになる。

具体的な目標② 猫の習性や行動を知り、適正な飼育管理方法を顧客にアドバイスができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容の説明、スケジュール紹介・評価基準説明と各自の自己紹介
2回目	犬猫の歴史①(ミアキスからペットとしての犬猫までと人間との関わり)
3回目	犬猫の歴史②(人間との共生・古代から近代)
4回目	犬猫の歴史③(使役動物としての犬、ペットとしての猫)
5回目	犬猫の歴史の総括、猫の体の疑問(グループワーク)
6回目	中間テスト及び振り返り
7回目	猫の体①(骨格・筋肉等)
8回目	猫の体②(感覚器)
9回目	猫の体③(感覚器としてのヒゲの役割)
10回目	猫の体総括、修正・行動の疑問(グループワーク)
11回目	猫の行動・習性①(テリトリー等)
12回目	猫の行動・習性②(マーキング等)
13回目	猫の行動・習性③(コミュニケーション等)
14回目	前期評価テスト及び振り返り
15回目	評価テストの解説、猫のまとめ

準備学習 時間外学習

この授業においては各単元ごとの初めにオリジナルプリント(犬猫の歴史・猫の百科事典・猫学教本等からの抜粋で作成)を配布する。その為、事前に目を通しておくことが大切。また、各論として内容により次週学習することの一部を下調べしておくことを授業中に発表する(ネット等で簡単に調べられるもの)ので準備学習を要する。

評価方法

- ・前期末試験:60%
- ・中間テスト:30%
- ・授業内評価(傾聴力・発言力):10%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント(猫の百科事典・猫学教本等からの抜粋で作成)、ブルーレイディスク等

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンパニオンアニマル (Companion Animals)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	川島 秀樹
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日・2限目/木曜日・4限目

【授業の学習内容】

当たり前知っているであろう犬という動物について専門家としてペットショップで生体販売するときに顧客に説明できるよう「体のつくり」「本能に基づく習性・行動」を学ぶ。また、ショップ以外の動物園他の関連業務でも説明の必要が出てくるので他の動物との比較も習得する。とくに犬は人との関わりが最も古い動物として人間社会での共生の実態を学習するとともに、適正な飼育管理ができるよう体のつくりや習性・行動を学ぶ。また、ワクチンワーク等も「なぜ必要か?」「いつ必要か?」を他者に説明できるよう知識の習得を図る。更に、犬猫の病気・ズーノーシスについても動物業務に携わる者として知っておくべきことを習得する。

※担当教員実務経験：2003年よりペットショップ開業・経営～現在に至る。2001年より日本FP協会所属のファイナンシャルプランナーとしても活動。

【到達目標】

ペットショップはもちろん、他の動物関連職業でも応用できるように犬・猫の家畜化の歴史、本来持つべき行動・習性、その為の体のつくりのほかストレスの少ない飼育管理に必要な知識と適応能力を身に着ける。

具体的な目標① 犬の習性や行動を学び、顧客に説明できるようになる。

具体的な目標② 犬の体のつくりを理解し、顧客にアドバイスができるようになる。

具体的な目標③ 犬猫の病気・ズーノーシスを学習し、動物業務従事者として適正な飼育管理ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	犬という動物の本能
2回目	犬の行動・習性①(本能に基づく行動)
3回目	犬の行動・習性②(動物業務従事者としての実務)
4回目	犬の行動・習性③(まとめ)グループワーク
5回目	犬の体①(骨格・筋肉等)
6回目	犬の体②(感覚器等)
7回目	中間テスト及び振り返り
8回目	犬の体③(生理値の観察・測定方法、まとめ)
9回目	人と犬の社会(人との関わり、使役・産業動物)
10回目	犬猫の病気①(感染症、対策としてのワクチン)
11回目	犬猫の病気②(寄生虫等外部要因)
12回目	犬猫の病気③(中毒や現代疾患)
13回目	ズーノーシス
14回目	後期評価テスト及び振り返り
15回目	テストの解説、犬・病気のまとめ(グループワーク)

準備学習 時間外学習	この授業においては各単元ごとの初めにオリジナルプリント(犬猫の歴史・猫の百科事典・猫学教本等からの抜粋で作成)を配布する。その為、事前に目を通しておくことが大切。また、各論として内容により次週学習することの一部を下調べしておくことを授業中に発表する(ネット等で簡単に調べられるもの)ので準備学習を要する。
---------------	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・後期末試験:60% ・中間テスト:30% ・授業内評価(傾聴力・発言力):10%
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント(猫の百科事典・猫学教本等からの抜粋で作成)、ブルーレイディスク等

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物学概論 (Introduction to Zoology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菅野 宏文
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	土曜日・3～5時限(月に1回)
【授業の学習内容】							
<p>動物園・水族館の意義と役割、動物園・水族館に係る法令、分類と分類学、脊椎動物の生理及び生態・メンデルと遺伝、染色体と遺伝、性と遺伝等、生物学史、生命の誕生を学ぶ。</p> <p>※担当教員実務経験：日本蛇族学術研究所研究員。伊豆アンディランド学芸員。現在は執筆活動も行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>業界(動物園・水族館・企業等)のニーズに対応出来る深い知識を習得し、更には動物園・水族館の採用試験に対応出来る学力を培う。</p>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	動物園・水族館の意義・役割
2回目	動物の愛護及び管理に関する法律
3回目	動物の愛護及び管理に関する法律、特定動物
4回目	外来生物法
5回目	ワシントン条約及び種の保存法
6回目	分類の概念及びリンネ式分類学・種概念・形態学的・生物学的種の定義
7回目	五界説における動物界の各門の概要・最新の分類・古細菌と3ドメインセオリー
8回目	学名、国際動物命名規約、二名法
9回目	動物の生態・生態用語等の解説・適応拡散と収れん現象
10回目	動物の生態・多様な繁殖様式・動物地理学・動物分布上の諸規則
11回目	メンデルと遺伝I・遺伝の法則
12回目	メンデルと遺伝II・遺伝子の相互作用
13回目	期末試験・ペーパーテスト実施
14回目	試験解答及び全過程の総括・性と遺伝子・性の決定
15回目	生物学の歴史・アリストテレス～、生物の定義と生命の誕生
準備学習 時間外学習	各自ノートの読み返しをし、復習に努める。講義の予習、調べ学習も行うこと。
評価方法	出席率・試験成績により判断する。 出席率70%以上の学生には2点、80%以上の学生には3点、90%以上の学生には5点、筆記試験に加点する。 筆記試験評価 GPA[A 100～90、B 89～80、C 79～70、D 69～60、F 59～0(不合格)となる。] 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>参考書：日本動物園・水族館協会「飼育ハンドブック・動物園編」III 内田享著(1965):「動物系統分類の基礎」(株式会社 北隆館)</p>	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物行動論 (Animal Behaviour Theory)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤井 勝
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	不定期

【授業の学習内容】

オペラント条件づけとレスポナント条件づけを中心に、学習理論の基礎となる用語の理解を深め、水族館等で飼育されている海獣類のトレーニングにおける背景(理論)を学ぶ。

※担当教員実務経験: 北海道大学卒業後、ワールドドルフィンリゾート及びワールド牧場にて3年間、ハンドウイルカ、オキゴンドウ、ハナゴンドウ、ケープペンギン、マゼランペンギン、フンボルトペンギンの飼育業務・ふれあい担当としてトレーナー勤務。その後、パラオ共和国 Dolphins Pacificにて7年間、ハンドウイルカの飼育業務・ふれあい・ドルフィンスイム・ドルフィンダイブ担当としてトレーナー勤務。2023年現在、ドッグトレーナーとして獣医師、グルーマー、トレーナーに犬のハズバンドリートレーニングの実践指導を行っている。

【到達目標】

オペラント条件づけ、レスポナント条件づけ、消去、般化と弁別など、学習における基本的な理論を学ぶ。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	PORTL①
2回目	ラベリングと循環論
3回目	ハズバンドリートレーニング①
4回目	PORTL②
5回目	ハズバンドリートレーニング②
6回目	正/負(環境の変化)①
7回目	PORTL③
8回目	正/負(環境の変化)②
9回目	強化/弱化(行動の増減)①
10回目	PORTL④
11回目	強化/弱化(行動の増減)②
12回目	行動随伴性と三項随伴性
13回目	前期評価試験対策授業
14回目	前期評価試験と振り返り
15回目	総括

準備学習
時間外学習

授業中に適宜課題を与える。授業内容理解し適宜メモを取る。

評価方法

- ・筆記試験: 80%
- ・出席率: 20%
- ※最高評価点数を100とする。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書: なし
参考書: Animal Training (Ken Ramirez) 行動分析学入門(産業図書)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物行動論 (Animal Behaviour Theory)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤井 勝
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	不定期

【授業の学習内容】

オペラント条件づけとレスポナント条件づけを中心に、学習理論の基礎となる用語の理解を深め、水族館等で飼育されている海獣類のトレーニングにおける背景(理論)を学ぶ。

※担当教員実務経験:北海道大学卒業後、ワールドドルフィンリゾート及びワールド牧場にて3年間、ハンドウイルカ、オキゴンドウ、ハナゴンドウ、ケープペンギン、マゼランペンギン、フンボルトペンギンの飼育業務・ふれあい担当としてトレーナー勤務。その後、パラオ共和国 Dolphins Pacificにて7年間、ハンドウイルカの飼育業務・ふれあい・ドルフィンスイム・ドルフィンダイブ担当としてトレーナー勤務。2023年現在、ドッグトレーナーとして獣医師、グルーマー、トレーナーに犬のハズパングリートトレーニングの実践指導を行っている。

【到達目標】

オペラント条件づけ、レスポナント条件づけ、消去、般化と弁別など、学習における基本的な理論を学ぶ。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	正の弱化的副作用①
2回目	PORTL⑤
3回目	正の弱化的副作用②
4回目	消去
5回目	般化/弁別①
6回目	般化/弁別②
7回目	シェイピング①
8回目	PORTL⑥
9回目	シェイピング②
10回目	脱感作①
11回目	脱感作②
12回目	PORTL⑦
13回目	後期試験対策授業
14回目	後期評価試験と振り返り
15回目	総括
準備学習 時間外学習	授業中に適宜課題を与える。授業内容理解し適宜メモを取る。
評価方法	・筆記試験:80% ・出席率:20% ※最高評価点数を100とする。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書:なし
参考書:Animal Training (Ken Ramirez) 行動分析学入門(産業図書)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物飼育演習 I (Practice of Animal Keeping- I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	村上 弘志
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日・1時限/2時限

【授業の学習内容】

実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設の特徴や飼育管理について学ぶ。また、現場のスタッフの話を聞き、現場で必要とされる「身構え・気構え・心構え」を学び身に付ける。実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設見学や飼育管理及び講話を聴講する。またそれらをまとめレポートにて提出する。実際に現場で働くスタッフの講話を受け、これからの現場で求められる知識、技術を理解する。

※担当教員実務経験:動物園にて、7年間飼育員兼オランウータン、チンパンジー、フラミンゴなどのトレーナーを経験。また、同時にウミガメなどの野生保護活動にも参加した。

【到達目標】

- ・施設の特徴を理解することができる。
- ・お客様へのホスピタリティを理解する事が出来る。
- ・現場で必要となるスキルを身に付ける事が出来る。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	【ガイダンス①】目的・目標、年間スケジュール
2回目	【施設見学①】動物の森
3回目	【施設見学①】動物の森
4回目	【施設見学②】ピクニカ共和国
5回目	【施設見学②】ピクニカ共和国
6回目	【ガイダンス②】振り返り、事前学習
7回目	【宿泊研修】うみたまご、アフリカンサファリ
8回目	【宿泊研修】うみたまご、アフリカンサファリ
9回目	【宿泊研修】うみたまご、アフリカンサファリ
10回目	【宿泊研修】うみたまご、アフリカンサファリ
11回目	【ガイダンス③】振り返り、事前学習
12回目	【施設見学③】動物愛護センター、トリアス
13回目	【ガイダンス④】振り返り、事前学習
14回目	【施設見学④】長崎バイオパーク、たびら昆虫自然園
15回目	【施設見学④】長崎バイオパーク、たびら昆虫自然園

準備学習
時間外学習

飼育演習先の施設や目的に沿って事前学習を行う。班ごとに調べたものをまとめ、それらを基に研修委員が配布資料を作成。バス移動中に班ごとに発表しクラスで共有。外に出る機会が多い福岡ECO学生としての立居振舞をするよう心掛けること。

評価方法

- ・レポート:60%
- ・授業内評価(積極性・協調性・傾聴力・発言力):40%

【使用教科書・教材・参考書】

参考資料:動物関連施設または団体のHP

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物飼育演習 I (Practice of Animal Keeping- I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	村上 弘志
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日・1時限/2時限

【授業の学習内容】

実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設の特徴や飼育管理について学ぶ。また、現場のスタッフの話を聞き、現場で必要とされる「身構え・気構え・心構え」を学び身に付ける。実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設見学や飼育管理及び講話を聴講する。またそれらをまとめレポートにて提出する。実際に現場で働くスタッフの講話を受け、これからの現場で求められる知識、技術を理解する。

※担当教員実務経験: 動物園にて、7年間飼育員兼オランウータン、チンパンジー、フラミンゴなどのトレーナーを経験。また、同時にウミガメなどの野生保護活動にも参加した。

【到達目標】

- ・施設の特徴を理解することができる。
- ・お客様へのホスピタリティを理解する事が出来る。
- ・現場で必要となるスキルを身に付ける事が出来る。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	【ガイダンス⑤】振り返り、後期スケジュール確認、事前学習
2回目	【演習】乗馬演習①
3回目	【演習】乗馬演習①
4回目	【演習】乗馬演習②
5回目	【演習】乗馬演習②
6回目	【演習】乗馬演習③
7回目	【演習】乗馬演習③
8回目	【ガイダンス⑥】振り返り、事前学習
9回目	【宿泊研修】関西方面(姫路セントラルパーク、atoa、神戸どうぶつ王国、天王寺動物園)予定
10回目	【宿泊研修】関西方面(姫路セントラルパーク、atoa、神戸どうぶつ王国、天王寺動物園)予定
11回目	【宿泊研修】関西方面(姫路セントラルパーク、atoa、神戸どうぶつ王国、天王寺動物園)予定
12回目	【宿泊研修】関西方面(姫路セントラルパーク、atoa、神戸どうぶつ王国、天王寺動物園)予定
13回目	【宿泊研修】関西方面(姫路セントラルパーク、atoa、神戸どうぶつ王国、天王寺動物園)予定
14回目	【宿泊研修】関西方面(姫路セントラルパーク、atoa、神戸どうぶつ王国、天王寺動物園)予定
15回目	【ガイダンス⑦】1年間の振り返り

準備学習 時間外学習	飼育演習先の施設や目的に沿って事前学習を行う。班ごとに調べたものをまとめ、それらを基に研修委員が配布資料を作成。バス移動中に班ごとに発表しクラスで共有。外に出る機会が多い福岡ECO学生としての立居振舞をするよう心掛けること。
---------------	--

評価方法	・レポート: 60% ・授業内評価(積極性・協調性・傾聴力・発言力): 40%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】

参考資料: 動物関連施設または団体のHP

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	牟田 杏奈
	(Practical Dog Training)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日・1時限/2限目

【授業の学習内容】

動物の中でも特に人との関わりが長い「犬」に関して学ぶことは、動物の学習理論に理解を深めるとともに、動物業界でのお客様とのコミュニケーション(接客、ふれあい、啓発等)にも活用出来る。この授業では、犬の習性を理解し、また動物施設における適切な管理を学び実践する。

※担当教員実務経験: 災害救助犬訓練士として従事、またしつけ教室にて家庭犬トレーナーとして従事。

【到達目標】

犬の生態、行動学、学習の仕方を理解し、犬とのコミュニケーションの向上をはかる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業オリエンテーション(1年間の流れ、注意点)
2回目	犬とのコミュニケーション+基本的な扱い方
3回目	犬の体の構造、+犬の分析学
4回目	犬の心理学
5回目	犬の行動学①
6回目	犬の行動学②
7回目	中間評価
8回目	トレーニング1(脚側停座・リーダーウォーク)
9回目	トレーニング2(停座・伏臥)
10回目	トレーニング3(据座・招呼)
11回目	トレーニング4(家庭犬訓練試験に基づいて)
12回目	トレーニング5(家庭犬訓練試験に基づいて)
13回目	トレーニング6(家庭犬訓練試験に基づいて)
14回目	前期末の試験及び振り返り①
15回目	前期末試験解説、振り返り②
準備学習 時間外学習	トレーニングの実践までに犬の生態、行動学をしっかり理解すること。 授業後はノート、レポートにまとめる。
評価方法	・実技試験:50% ・授業内評価(態度、積極的参加、発言力):30% ・レポート・ノート提出:20%

【使用教科書・教材・参考書】

作成資料 JKC 訓練基本マニュアル

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松下 陶子
	(Practical Small Animal Care-1)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時(1週間×2回)

【授業の学習内容】

動物園・動物飼育専攻と総合ペットショップ専攻の2年生をスチューデントティーチャーとし、小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を学ぶ。

※担当教員実務経験：インコ・オウム専門店で約4年半の飼育経験有。繁殖にも携わる。

【到達目標】

- ・飼養管理：各種動物に合った飼養管理を理解し、説明できるようになる。
- ・掃除：限られた時間内での素早く丁寧な掃除ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る①
2回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る②
3回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る③
4回目	飼育管理の実践①
5回目	飼育管理の実践②
6回目	飼育管理の実践③
7回目	飼育管理の実践④
8回目	飼育管理の実践⑤
9回目	飼育管理の実践⑥
10回目	飼育管理の実践⑦
11回目	飼育管理の実践⑧
12回目	飼育管理の実践⑨
13回目	飼育管理の実践⑩
14回目	飼育管理の実践⑪
15回目	飼育管理の実践⑫、前期の振り返り
準備学習 時間外学習	授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。
評価方法	・授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力)：80% ・出席率：20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習 I (Practical Small Animal Care-I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松下 陶子
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時(1週間×2回)

【授業の学習内容】

動物園・動物飼育専攻と総合ペットショップ専攻の2年生をスチューデントティーチャーとし、小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を学ぶ。

※担当教員実務経験：インコ・オウム専門店で約4年半の飼育経験有。繁殖にも携わる。

【到達目標】

- ・飼養管理：各種動物に合った飼養管理を理解し、説明できるようになる。
- ・掃除：限られた時間内での素早く丁寧な掃除ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る①
2回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る②
3回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について知る③
4回目	飼育管理の実践①
5回目	飼育管理の実践②
6回目	飼育管理の実践③
7回目	飼育管理の実践④
8回目	飼育管理の実践⑤
9回目	飼育管理の実践⑥
10回目	飼育管理の実践⑦
11回目	飼育管理の実践⑧
12回目	飼育管理の実践⑨
13回目	飼育管理の実践⑩
14回目	飼育管理の実践⑪
15回目	飼育管理の実践⑫、前期の振り返り

準備学習 時間外学習	授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。
---------------	---

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力)：80% ・出席率：20%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	進級課題 (Level Advancement Study)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	村上 弘志
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	進級課題とは① ～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方 ～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～

準備学習
時間外学習

各自(各班)で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。

評価方法

- ・発表内容:80%
- ・課題への参加度:20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海外実学研修 (Overseas Practical Training)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	現地各施設実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

国際教育の一環として、実際に海外での施設見学、特別講義、自由行動を通し国際性を身に付け、グローバル化する現代社会で活躍できる人材育成を目的とする。

※担当教員実務経験：海外における現地実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・最先端の動物、環境に関わる知識や技術を理解し身に付ける。
- ・これからの業界に必要な考え方を理解し身に付ける。
- ・世界における日本の立場を理解する。
- ・自身のキャリアをデザインする。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	訪問国、訪問施設を調べまとめる、班ごとに発表する
2回目	訪問国での施設見学、特別講義
3回目	訪問国での施設見学、特別講義
4回目	訪問国での施設見学、特別講義
5回目	訪問国での施設見学、特別講義
6回目	訪問国での施設見学、特別講義
7回目	訪問国での施設見学、特別講義
8回目	訪問国での施設見学、特別講義
9回目	訪問国での施設見学、特別講義
10回目	訪問国での施設見学、特別講義
11回目	訪問国での施設見学、特別講義
12回目	訪問国での施設見学、特別講義
13回目	訪問国での施設見学、特別講義
14回目	研修ノートのまとめ、レポート作成
15回目	海外実学研修の振り返り、発表、まとめ

準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・【事前学習】訪問国、訪問施設を調べまとめる ・【事後学習】訪問施設を研修ノート及びレポートにまとめる
評価方法	・研修ノート、レポート：(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

過去の海外実学研修ノート

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communivcation)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	ILO国際語学センター
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

好きな事について話すことができる。商品のレビューを読み、書くことができる。
平日、週末のアクティビティについて話すことができる。日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。
道順について尋ねる、また教えることができる。場所についての特徴について読み、書くことができる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	個人的な情報をたずねる・説明する表現を学ぶ。Be 動詞を学ぶ、復習する。疑問代名詞[What]の使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く。大文字、ピリオドの使い方を学ぶ。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	「はい」「いいえ」で答える質問における [Is / Are]の使い方を学ぶ。家族について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	年齢、誕生日に関する表現を学ぶ言い直すに関する言葉を学ぶ。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	[it is]の使い方を学ぶ。家具について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	ホームシェアについてのメールを読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	「現在形」陳述文を学ぶ (I, you, we)。好きな事について話す。	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	連絡を取り合う方法について話す。相手の話を聞いていることを示す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	「現在形」疑問文 (yes/no / WH-question)を学ぶ。時間・ルーティンについて話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	日常のアクティビティについてのレポートを読む、書く。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	[There (is, are), (a lot, some no)]の使い方を学ぶ。町にある場所について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ情報を確認する。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習
時間外学習

授業内容の予習と復習を行うこと。

評価方法

小テストの正解率にて評価
(前期小テスト合計30回の正解率=100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE1

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communivcation)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	ILO国際語学センター
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。オンラインでの招待状を読み、書くことができる。
過去についての場所や出来事、過去の人について述べるができる。思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。
食べた食事について話すことができる。レストランのレビューを読む、また書くことができる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
自分や他人を紹介することができる、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	「現在進行形」疑問文を学ぶ旅行について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	最近の出来事についてのブログ記事を読む、書く。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	[Can / Can't](能力)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。自身のスキルや能力について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	自分の意見を述べる。自分はある仕事の適任者であることを説明する。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて話す」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	[like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ。使い分けがわかる旅行計画を立てる。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	旅行ガイドを読む、また場所の説明を書く。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	[be going to](陳述文)の使い方を学ぶ。週末に向けたアウトドア活動の計画について話す。	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	あることをやっではない理由を説明する。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画し、発表する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	「過去形」(was / were)の疑問文を学ぶ。色、記憶について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	思い出の品についての記事やメールを読む、書く。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	「過去形」の陳述文を練習する。スナック、軽食について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	[so / really] (強調する)の使い方を学ぶ。食べ物・飲み物を注文する。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習
時間外学習

授業内容の予習と復習を行うこと。

評価方法

小テストの正解率にて評価
(前期小テスト合計30回の正解率=100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE1

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	業界研修 (Business Internship)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
- ・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
- ・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
- ・自らの「キャリア」をデザインできる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会

準備学習
時間外学習

- ・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動
- ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成

評価方法

- ・研修ノート内容及び提出：80%
 - ・インターンシップ先企業からの評価表：20%
- これらを総合的に判断して評価

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義 & 見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・動物業界で必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
- ・動物業界で必要な人間力を理解し、身に付ける。
- ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
- ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習
・講義後もしくは見学のレポートのまとめ

評価方法

・レポート(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各イベント実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員: 各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・企画立案、運営ができるようになる。
- ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
- ・接客を知り、実践できるようになる。
- ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
- ・予算管理を実践し習得する。
- ・スケジュールリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容

1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる

評価方法	・準備: 50% ・レポート: 50%

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別課外活動 (Club Activities)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各クラブ顧問
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

- ・チームワークを身に付ける。
- ・計画性を身に付ける。
- ・予算管理を身に付ける。
- ・マネジメントを理解し身に付ける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

・日報や日誌、報告書を作成すること。

評価方法

・クラブ活動態度:100%

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ボランティア活動 (Volunteer Work)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員: 各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
- ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授業計画・内容

1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	・レポート: 100%

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	村上 弘志
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習 毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。

評価方法 ・資格取得、検定合格:100%

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅡ (Carrier PlanningⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	後藤博美
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・3時限/水曜日・1時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
※担当教員実務経験:該当なし

【到達目標】

- ・セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
- ・チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
- ・動物業界への進路選択を考え自己のキャリアデザインに取り組む

授業計画・内容

1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)、クラス組織決め①、クラス目標決め
2回目	セルフマネジメント(自己管理) 各自の目標決め、クラス目標決め②、学園祭について
3回目	チームマネジメント① 学園祭の話し合い①、GWの過ごし方、夢を叶えた先輩たちの「行動の原則」(1年次の振り返り)
4回目	チームマネジメント② 学園祭の話し合い②、GWの振り返り(業界研修含む)
5回目	チームマネジメント③ 学園祭の話し合い③、漢字テスト①
6回目	「キャリアデザイン」① 学園祭の話し合い④、業界研修について①「注意点、流れについて」
7回目	「キャリアデザイン」② 学園祭の話し合い⑤、業界研修について②「研修評価表について」、漢字テスト②
8回目	「キャリアデザイン」③ 学園祭の振り返り～自身の関わり方と業界研修への姿勢について～
9回目	「キャリアデザイン」④ グループワーク①話し合い、漢字テスト③
10回目	「キャリアデザイン」⑤ グループワーク②発表
11回目	「キャリアデザイン」⑥ クラス目標確認～クラス、個人～、漢字テスト④
12回目	「キャリアデザイン」⑦ スポーツフェスタ準備活動①、夏季業界研修準備
13回目	「集団での役割」の理解と実践① スポーツフェスタ準備活動②、漢字テスト⑤
14回目	評価週、前期の振り返り及び後期に向けて、スポーツフェスタ準備活動③
15回目	「集団での役割」の理解と実践② スポーツフェスタ準備活動④、漢字テスト⑥
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学校生活を記録に残す ・動物業界を知る ・動物施設での校外学習に参加する ・事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・集団(クラス)での役割の理解と実践: 50% ・授業参加状況: 30% ・期末試験: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・学生便覧
- ・Hand-book of Life Style

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	後藤博美
	(Carrier PlanningⅡ)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日・1時限/金曜日・1時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
※担当教員実務経験:該当なし

【到達目標】

- ・セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
- ・チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
- ・動物業界への進路選択を考え自己のキャリアデザインに取り組む
- ・進級課題のテーマを定め取り組む

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	「キャリアデザイン」⑧ 後期の目標設定、スポーツフェスタの振り返り
2回目	進級課題制作① 進級課題のテーマに沿った取り組みを行うⅠ
3回目	進級課題制作② 進級課題のテーマに沿った取り組みを行うⅡ
4回目	進級課題制作③ 進級課題のテーマに沿った取り組みを行うⅢ
5回目	進級課題制作④ 進級課題のテーマに沿った取り組みを行うⅣ
6回目	進級課題制作⑤ 進級課題のテーマに沿った取り組みを行うⅤ
7回目	就職ガイダンス準備
8回目	就職ガイダンス振り返り～個人ワーク、グループワーク、発表～
9回目	進級課題制作⑥ 進級課題のテーマに沿った取り組みを行うⅥ
10回目	進級課題制作⑦ 進級課題のテーマに沿った取り組みを行うⅦ
11回目	進級課題制作⑧ クラス内発表リハーサル①
12回目	進級課題制作⑨ クラス内発表リハーサル②
13回目	今年の目標～個人目標発表～
14回目	進級課題制作⑩ クラス内最終発表
15回目	今年度の振り返り及び3年生へ向けて
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学校生活を記録に残す ・動物業界を知る ・動物施設での校外学習に参加する ・事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・集団(クラス)での役割の理解と実践:50% ・授業参加状況:30% ・期末試験:20%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・学生便覧
- ・Hand-book of Life Style

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ホスピタリティ (Hospitality)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日・1時限/2時限

【授業の学習内容】

ホスピタリティ・マインドとは、「おもてなしの心」とも訳され、ビジネスに携わる上で不可欠なものです。相手に満足してもらうサービスを提供する為に、「相手の立場になって考え行動できる力」を身につけ実践出来るように講義形式・実践形式にて理解を深めます。

※担当教員実務経験：専門学校にて、ビジネスマナー、ホスピタリティ、就職講座など幅広く担当している。

【到達目標】

- ①ホスピタリティの理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。
- ②学んだことを生かし、日常生活においてもホスピタリティ・マインドを持って行動することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション：講義の説明　ホスピタリティ動画を視聴し、サービスとホスピタリティの違いについて理解することができる
2回目	ホスピタリティを実践するための3つのステップを踏まえ基本マナーを身につける(挨拶・お辞儀)
3回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(服装・身だしなみの重要性)
4回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(言葉遣い・声の出し方)
5回目	電話対応の基本マナーとビジネス上の定番トークを覚え、信頼を得る電話対応ができる
6回目	電話対応　ロールプレイング
7回目	おもてなしにあたってのマナーについて理解し、現場で実践することができる
8回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(コミュニケーションが始まる挨拶・笑顔)
9回目	適当な挨拶のデメリットとマナーにかなった挨拶のメリットについて理解を深めることができる
10回目	マインド(心構えや気持ち)、知識、行動など振り返り、再確認することができる。
11回目	リッツ・カールトンのホスピタリティについて調べ、感動を与えるサービスについて理解することができる
12回目	自分が体験した感動サービスについて取り上げ、感性を磨くことができる
13回目	評価試験対策
14回目	評価試験
15回目	前期講義の振り返り

準備学習
時間外学習

事前学習では、シラバスを読み講義概要を確認すること。
時間外学習では、ホスピタリティを身につけるために行動すること。相手に対してちょっとした気遣いの積み重ねです。まずは考え行動しましょう。

評価方法

- ・試験:80%
- ・平常点:20%

【使用教科書・教材・参考書】

【使用参考書】 図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアサポートアップ (Improving Career Skills)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	榎本篤子/田代マキ
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・2時限/4時限
【授業の学習内容】							
面接、小論文、履歴書の書き方							
※担当教員: キャリアカウンセラー(技能士2級)、精神保健福祉士、公認心理師。学校関係へのキャリア教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダーシップの在り方まで、働く人の心と職場環境を整える活動を展開している。							
【到達目標】							
面接時に表情豊かに元気に堂々と質問に答えることができる。 文字を丁寧に起承転結があり、まとまりのある文書が書ける。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	キャリアサポートアップ授業についての説明
2回目	なぜ面接を受けるのか？人は相手の何に影響されるのか？
3回目	自己分析 アウトカム作成
4回目	履歴書の書き方
5回目	履歴書の作成
6回目	履歴書の作成
7回目	面接練習 姿勢・好感音表情トレーニング 想定質問
8回目	面接練習 対一 * 小論文の課題発表
9回目	面接練習 三対三
10回目	集団面接練習 * 小論文の課題提出
11回目	御礼状の書き方
12回目	オンライン面接対策
13回目	キャリアサポートアップ授業についての自己分析
14回目	前期テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	内容により事前学習が必要 課題提出あり
評価方法	・参加態度:60% ・課題提出:40%
講師オリジナルテキスト	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	社会人基礎力 Essential Competencies for the Working Adult	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	榎本篤子/田代マキ
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

経済産業省提唱の社会人基礎力の12の能力要素に沿って、ワークを通して自己肯定感、他者肯定感を高め、問題解決能力を磨く。

※担当教員: キャリアカウンセラー(技能士2級)、精神保健福祉士、公認心理師、学校関係へのキャリア教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダーシップの在り方まで、働く人の心と職場環境を整える活動を展開している。

【到達目標】

主体性を発揮できるようになる。
考える力を身につける。
チームで働く意識を強める。
計画、実行、忍耐力を身に付ける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	社会人基礎力の説明
2回目	規律性とビジネスマナー *ルールとマナー
3回目	課題発見力 個人ワークとグループワーク 気付きの習慣を磨く
4回目	名刺交換、電話応対 なぜ社会人としての立ち居振る舞いが必要かグループワーク
5回目	状況把握力 ①提案力改善案スピーチ
6回目	状況把握力 ②提案力改善案スピーチ
7回目	中間評価
8回目	計画力 優先順位の付け方 PDCAサイクルについて
9回目	身近なPDCAサイクル発表 他者の行動を参考 モデリングする。
10回目	スモールステップからの現実可能なキャリアデザインを描く
11回目	実行力 マンパワーワーク
12回目	電話応対、ビジネスメール、社会人としての立ち居振る舞い復習
13回目	働きかけ力 社会人としての役割を知る。
14回目	前期評価テスト
15回目	前期の振り返り
準備学習 時間外学習	課題により準備学習、振り返り学習あり
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・参加態度:50% ・傾聴力:30% ・筆記試験:20%

【使用教科書・教材・参考書】

講師オリジナルテキスト
社会人基礎力講座(日経BP社)7つの習慣(宝島社)PDCAノート(フォレスト出版)他

2024年度 シラバス

科目名 (英)	マネジメント Management	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村元洋
学科・コース	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・1時限/水曜日・2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>マネジメントの概要と基礎を学ぶ。以下、具体的な内容である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、リスク認識力～冷静に何がリスクか認識でき、回避行動が取れる 2、判断力～多様な問題を検討し、ブレずに主体的に最善の判断をし、決断ができる 3、課題認識力～組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標を立てられる 4、計画立案力～目標達成のための手段を選択でき、計画が立てられる 5、目標管理力～刻々と変化する環境下、計画や手段を修正しながら、粘り強く達成への努力が続けられる 6、顧客満足力～顧客など組織外の利害関係者の期待に応えることができる 7、調整・交渉力～組織内外の利害関係者に対して交渉・調整ができる 8、組織運営力～組織メンバーとコミュニケーションを取りながら動き、部下の能力を結集できる <p>※教員実務経験:2016年3月～企業や社会人資格取得学校において、コーチングやリーダーシップ、心理学を取り入れた研修及び講座、カウンセリングを実施。</p>							
【到達目標】							
<p>マネジメント(組織管理や運営)の基礎の習得。具体的には、以下の目標。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①あるべき姿と現場のギャップを的確に発見して、組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標を立てる ②課題の解決に向けて、周囲の認識を共通のものにし、部署・組織全体と連携した行動により、自身の提案を実現する 							
1回目	オリエンテーション:授業の進め方、自己紹介、なぜ、マネジメントの授業を行うのか?マネジメントの目的とは						
2回目	マネジメント基礎知識:マネジメントの役割・マネジメントの社会での必要性・マネジメントとマネージャとリーダーシップとは?						
3回目	マネジメントの種類:様々なマネジメントを知る 事例研究など						
4回目	マネジメントとリーダー:社会(企業)が求める「リーダー像」を確認 それぞれが思う、「自分がなりたいリーダー像」を確認						
5回目	リーダーシップとは?:リーダーとリーダーシップの違いについて理解を深める						
6回目	リーダーシップを発揮する要素:自分の中にある3つの要素を見つけ、その活かし方を学ぶ						
7回目	効果的な意思表示:自己の感情表現タイプをチェックし、効果的な意思表示について学ぶ						
8回目	アンガーマネジメント:感情についての理解を深め、アンガーマネジメント法の基礎を学ぶ						
9回目	関わり方:「物事の進め方のタイプ」について理解を深める						
10回目	チームマネジメント①:グループで関わることについての理解を深める						
11回目	チームマネジメント②:会議・ミーティングについて学ぶ						
12回目	リーダーシップとスポンサーシップ:信頼関係の構築する関わりについて学ぶ						
13回目	全体発表:学んだこと・発見したこと・印象残ったことを通して、今後、どう活かしていくのか?考えをまとめ、発表する						
14回目	試験:筆記テストと実技を実施し、これまでの学びの復習と理解度を図る						
15回目	まとめ・振り返り						
準備学習 時間外学習	時間外学習:提出される課題を実施しレポート提出。推薦図書の熟読。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験:70% ・課題:30%(課題提出状況及び出来栄) 						
【使用教科書・教材・参考書】							
使用教材:講師作成資料							
参考図書:「サクッとわかるビジネス教養 マネジメント」「アドラー関連書籍」など							

2024年度 シラバス

科目名 (英)	マネジメント Management	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村元洋
学科・コース	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・1時限/水曜日・2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>マネジメントの概要と基礎を学ぶ。以下、具体的な内容である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、リスク認識力～冷静に何がリスクか認識でき、回避行動が取れる 2、判断力～多様な問題を検討し、ブレずに主体的に最善の判断をし、決断ができる 3、課題認識力～組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標が立てられる 4、計画立案力～目標達成のための手段を選択でき、計画が立てられる 5、目標管理力～刻々と変化する環境下、計画や手段を修正しながら、粘り強く達成への努力が続けられる 6、顧客満足力～顧客など組織外の利害関係者の期待に応えることができる 7、調整・交渉力～組織内外の利害関係者に対して交渉・調整ができる 8、組織運営力～組織メンバーとコミュニケーションを取りながら動き、部下の能力を結集できる <p>※教員実務経験:2016年3月～企業や社会人資格取得学校において、コーチングやリーダーシップ、心理学を取り入れた研修及び講座、カウンセリングを実施。</p>							
【到達目標】							
<p>マネジメント(組織管理や運営)の基礎の習得。具体的には、以下の目標。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①あるべき姿と現場のギャップを的確に発見して、組織の課題を自ら認識し、達成すべき目標を立てる ②課題の解決に向けて、周囲の認識を共通のものにし、部署・組織全体と連携した行動により、自身の提案を実現する 							
1回目	オリエンテーション:前期で学んだことに関する振り返り、取り組みに関する感想のシェア、質問や事例対応、後期授業の説明						
2回目	コーチングとは:コーチングについての基本的な知識						
3回目	セルフコーチングとは:自身に行うコーチングについての基礎的知識						
4回目	スタッフマネジメント:信頼関係のプロセス 信頼関係を築くスキル						
5回目	信頼関係を築くスキル:信頼関係を築くスキルを身につける						
6回目	傾聴とは:傾聴の基本的な知識を学習						
7回目	効果的な質問①:質問への理解を深め、実践しながら質問の使い分けを身につける						
8回目	効果的な質問②:質問への理解を深め、実践しながら質問の使い分けを身につける						
9回目	効果的な言葉かけ:言語が与える影響について学ぶ						
10回目	時間管理:時間認識の違いについて理解する						
11回目	効果的な時間活用法:時間の効果的な使い方について理解を深める						
12回目	マネジメントと勇気づけ:マネジメントに必要な勇気づけの関わり方について学ぶ						
13回目	振り返り:これまで学んだことを振り返る						
14回目	試験:筆記テストを実施し、これまでの学びの理解度を図る						
15回目	まとめ						
準備学習 時間外学習	時間外学習:提出される課題を実施しレポート提出。推薦図書熟読。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験:70% ・課題:30%(課題提出状況及び出来栄) 						
【使用教科書・教材・参考書】							
使用教材:講師作成資料							
参考図書:「サクッとわかるビジネス教養 マネジメント」「アドラー関連書籍」など							

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動画制作 (Video production)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂井 隆仁
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日・2時限/3時限

【授業の学習内容】

商用利用のSNSで使う動画を自分で編集し投稿する。

※担当教員実務経験:

営業、Webディレクター、ブライダルサービス、PA、カフェ運営の現場で様々なスキルを身に着けた講師として、パソコンの実務的な使い方を学習していきます。

授業終了時には、自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていきます。

【到達目標】

パソコン内データの取り扱い方が分かり、自分で撮影した動画を編集しSNSに投稿することができるようになる。
また、商業利用のSNSで注意する事や、ホームページの作成活用方法等もわかるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション: 自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。 タイピング練習をしてキーボードに慣れる。
2回目	画像加工: remove bgを使い画像加工をし、自由に使えるようになる。
3回目	PowerPoint課題: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。画像挿入ができるようになる。
4回目	PowerPoint課題: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。文字入力装飾ができるようになる。
5回目	PowerPoint課題: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。アニメーション、画面切り替えができるようになる。仕上げ
6回目	PowerPoint課題: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。上映会を実施します。
7回目	動画編集: 環境整備、静止画を使った動画作成、アニメーションを使えるようになる。
8回目	動画編集: 動画を使った動画作成、カット、文字入れができるようになる。書き出しができるようになる。
9回目	動画課題①: 1分間の動画作成(テーマ: 各自で決めてもらいます。)
10回目	動画上映会: 各自作成した動画の上映会をします。なぜこのテーマにしたのか、こだわりポイントをみなさんに解説してもらいます。
11回目	SNS(インスタ)への投稿、商業利用時の注意点と著作権について、他SNSでのトラブル紹介
12回目	撮影練習: 撮影する上での注意点、テクニックを説明したのち、各自撮影体験をする。
13回目	動画課題②-1: 1分間の動画作成(テーマ: 動物紹介) 今まで使った技を使い自由に動画作成
14回目	動画課題②-2: 1分間の動画作成(テーマ: 動物紹介) 今まで使った技を使い自由に動画作成
15回目	動画上映会: 各自作成した動画の上映会をしSNSに投稿

準備学習
時間外学習

授業時間だけでは使える様にはなりません。
授業時間外でどれだけパソコンを触り、疑問に思うかがスキルアップの近道です。
予習復習を是非して下さい。
そして、身近にある物にコレはどの様に作っているのか興味を持ってください。
自分だったらこんな風に作るのになと、考える事をして欲しいです。

評価方法

・出席点: 60%
・課題提出: 40%

【使用教科書・教材・参考書】

課題資料を配布します。

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動画制作	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂井 隆仁
	(Video production)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日・2時限/3時限

【授業の学習内容】

商用利用のSNSで使う動画を自分で編集し投稿する。

※担当教員実務経験:

営業、Webディレクター、ブライダルサービス、PA、カフェ運営の現場で様々なスキルを身に着けた講師として、パソコンの実務的な使い方を学習していきます。

授業終了時には、自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていきます。

【到達目標】

パソコン内データの取り扱い方が分かり、自分で撮影した動画を編集しSNSに投稿することができるようになる。
また、商業利用のSNSで注意する事や、ホームページの作成活用方法等もわかるようになる。

授業計画・内容

1回目	DTP① ハロウィンイベントのチラシ作成 RGBとCMYKの違いについて
2回目	DTP② チラシ制作 紙の種類やサイズについて
3回目	DTP③ ロゴ制作、名刺制作
4回目	ホームページ制作① ペライチを使いホームページの作り方を学習 Webの仕組みについて
5回目	ホームページ制作② テーマ別のホームページ作成
6回目	3Dモデリング① 基本操作を学習 机を3Dモデリングで作成
7回目	3Dモデリング② 棚を3Dモデリングで作成
8回目	3Dモデリング③ アニメーションについて
9回目	動画応用① テキスト読み上げソフトウェアについてと使い方
10回目	動画応用② アニメーション制作方法について おすすめアプリの紹介
11回目	動画応用③ 適切なテロップの作り方と配色について。
12回目	動画応用④ ショート動画を作成①
13回目	動画応用⑤ ショート動画を作成②
14回目	動画応用⑥ ショート動画を作成③
15回目	動画応用⑦ ショート動画を作成④

準備学習
時間外学習

授業時間だけでは使える様にはなりません。
授業時間外でどれだけパソコンを触り、疑問に思うかがスキルアップの近道です。
予習復習を是非して下さい。
そして、身近にある物にコレはどの様になっているのか興味を持ってください。
自分だったらこんな風に作るのになど、考える事をしてみて欲しいです。

評価方法

・出席点:60%
・課題提出:40%

【使用教科書・教材・参考書】

課題資料を配布します。

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	次世代のための環境教育 (Environmental Study for the Next Generation)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大橋 光雄
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

環境問題の概略を理解し、ジレンマや事例研究を参考にトリレンマ懸案をどのように自分たちの職場や社会にしていけるか、またワークショップ(workshop)を用い読み解く力をつける。

※担当教員実務経験: 福岡県キャンプ協会会長歴任後、現名誉会長。(公益社)日本キャンプ協会 元理事・専門委員。
アメリカ冒険学校「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学、WRWコース終了。
キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンプイベントや執筆、普及活動に携わる。

【到達目標】

自分たちの業界と環境問題のつながりを知り、環境教育の必要性と目的を理解する。また、自然環境の一員としての人間の位置づけを環境倫理の面から掘り下げて考察する。

その上で主に9のカテゴリーで環境教育を紐解き多様な考えや社会経済との結びつきを考えることができるようになる。

各時間の授業のPPTを用い内容にそった講義とワークショップ(workshop)を通して理解を深めるようにする。

また、実際に今の環境教育が考えられるように新聞報道や環境教育の取り組みアクティビティ等演習を実施する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ガイダンス・環境教育の必要性と目的
2回目	世界の環境問題1(地球温暖化)海洋のメカニズム
3回目	世界の環境問題2(海洋と生物多様性)仕組みと身近な事例
4回目	世界の環境問題3(オゾン層の破壊)
5回目	世界の環境問題4(海洋汚染～ゴミ問題～食糧問題)
6回目	環境問題の啓発者の探る1. Severn Cullis-Suzuki リオの伝説のスピーチを読み解く
7回目	環境問題の啓発者の探る2. 世界の環境教育の流れ「ベオグラート憲章」
8回目	職場を取り巻く環境問題 日本の環境教育の流れ「関心・理解・行動」
9回目	環境教育における環境倫理 酸性雨・海洋汚染 マイクロプラスチック
10回目	環境教育における環境倫理 有害廃棄物の越境移動 マイクロプラスチック
11回目	環境教育における環境倫理 野生生物種の減少1
12回目	環境教育における環境倫理 野生生物種の減少2
13回目	環境教育における環境倫理 ジレンマからトリレンマ 砂漠化 異常気象
14回目	理解度の確認 Q&A 環境クイズ エコ検定
15回目	試験の解説と補足
準備学習 時間外学習	毎回動画や新聞を題材に用いアクティブラーニングESD(Education for Sustainable Development) SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)等を用いる。世界の動きやニュースソースに関心を持ち環境用語を理解しておくこと。
評価方法	・定期試験:80% ・発表:10% ・受講出席率:10%

【使用教科書・教材・参考書】

適宜 資料を配布する。 また授業理解のためのミニテストを行う。

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	次世代のための環境教育 (Environmental Study for the Next Generation)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大橋 光雄
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・2時限/3時限

【授業の学習内容】

環境問題の概略を理解(SDGs17のターゲット目標)その解決に向けて主に社会や職場で環境教育に関する話ができるように現場を念頭に置いて授業を行う。

※担当教員実務経験:福岡県キャンプ協会会長歴任後、現名誉会長。(公益社)日本キャンプ協会 元理事・専門委員。
アメリカ冒険学校「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学、WRWコース終了。
キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンパイベントや執筆、普及活動に携わる。

【到達目標】

環境問題の概略を知り、環境教育の必要性と目的を理解する。また、自然環境の一員としての人間の位置づけを環境倫理の面から掘り下げて考察する。その上で主に職場中で環境教育を実践できるようになると同時に、社会での教育活動の中でもどのような活動ができるか考えることができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ガイダンス・環境教育の必要性と目的 ESD SDGs
2回目	世界の環境問題1(地球温暖化、酸性雨など)
3回目	世界の環境問題2(オゾン層の破壊、生物多様性減少など)
4回目	世界の環境問題3(エネルギー問題、人口・食糧問題)
5回目	環境教育のパイオニアを知る
6回目	環境系ゲーム ESD SDGs
7回目	世界の環境教育の流れ 環境系ゲーム ESD SDGs
8回目	環境教育における環境倫理 CSR CSV(企業の社会的責任)
9回目	日本の環境教育の流れ「関心・理解・行動」と世界の動きSDGs17のターゲット目標
10回目	就職現場での環境教育の位置づけと課題 「観光地の環境問題」
11回目	就職現場の中での実践1(全体計画、年間指導計画、(1))
12回目	就職現場の中での実践2(全体計画、年間指導計画、(2))
13回目	現場での環境問題と私たちにできること ISO ルール取り決め
14回目	理解度の確認 Q&A 環境クイズ
15回目	試験の解説と補足

準備学習 時間外学習 毎回動画や新聞を題材に用いアクティブラーニングESD(Education for Sustainable Development) SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)等を用いる。世界の動きやニュースソースに関心を持ち環境用語を理解しておくこと。

評価方法
 ・定期試験:80%
 ・発表:10%
 ・受講出席率:10%

【使用教科書・教材・参考書】

適宜 資料を配布する。
 また授業理解のためのミニテストを行う。
 毎回動画やニュースソース題材に選ぶ
 アクティブラーニングESD(Education for Sustainable Development) SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)等を用いる。

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物園飼育論Ⅱ (Zoo Keeping Theory-Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	福井 智太
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

1年時に学んだ動物園動物の飼養管理を基により深く理解し、説明できるようになる。また、飼育現場の実例を基に、実践的知識をつけ説明できるようになる。
 ※担当教員実務経歴：2009年から3年間、九州自然動物園アフリカンサファリに勤務。ふれあいゾーンにて小動物、中型・草食動物、家畜動物の飼育とふれあい業務および、サファリゾーンにて中型～大型草食動物、アメリカクロクマなどの飼育展示業務を経験。
 2012年から10年間、到津の森公園に勤務。日本産動物(小型哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、淡水魚類)、大型草食動物、大型肉食動物、類人猿、霊長類、鳥類の飼育展示業務および、来園者向けの環境学習、体験型講座、企画展など学習イベントの企画・運営業務を経験。飼育1班(大型動物・特定動物担当)の班長業務を経験。

【到達目標】

- ・動物園で使用する専門的な用語について説明できるようになる。
- ・飼育動物の状態や飼育環境の状況にあわせて、適切な対処をするために必要な思考や視点の基礎を身に付ける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	シラバスを用いて授業内容の説明、質問募集、グループワーク「理想の飼育員像」
2回目	【安全管理】動物園における重大事故の実例と安全対策の重要性について解説
3回目	【繁殖管理】①人工哺育part2フクロテナガザルの人工哺育実例紹介、グループワーク「霊長類の人工哺育に賛成か反対か」
4回目	【繁殖管理】②人工哺育part3育児放棄した母親が子育てを始めた実例紹介
5回目	【繁殖管理】③動物園間の協力体制、飼育動物の引っ越し
6回目	【健康管理】①中毒を起こす植物紹介、不適切な給餌による飼育動物の死亡例紹介
7回目	【健康管理】②食性に合わせた飼料選択の実例紹介(哺乳類・鳥類)
8回目	【健康管理】③グループワーク「過長蹄のシマウマをどう治療するか」
9回目	【健康管理】④ハズバンドリートレーニングの実例紹介
10回目	【飼育員の仕事内容】①サファリパーク飼育員の業務内容紹介
11回目	【飼育員の仕事内容】②市所有動物園飼育員の業務内容紹介
12回目	【飼育員の仕事内容】③教育・研究活動の実例紹介
13回目	学習内容の振り返り
14回目	前期評価試験および振り返り
15回目	試験返却、学習内容の総括

**準備学習
時間外学習**

【使用する教科書】
 ・飼育ハンドブック①～⑤
 【その他参考資料】
 ・動物園のHP(飼育員による研究発表や飼育管理の工夫に関するブログなど)
 ・各種動物研究団体のHP(エンリッチメント:SHAPE-japan、霊長類:京都大学霊長類研究所、類人猿:SAGA(大型類人猿を支援する集い)など掲載資料)
 ・動物園および動物研究団体公式の配信動画など、事前、事後学習として活用する事

評価方法

- ・出席率:30%
- ・授業態度:20%
- ・評価試験:50%

【使用教科書・教材・参考書】

上記準備学習時間外学習欄に記載の資料に加え、講師が飼育員在職中に撮影した写真および映像資料

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の繁殖 (Breeding of Animals)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	井上 龍介
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・4時限/水曜日・3時限

【授業の学習内容】

動物の繁殖は、飼育現場で関わりの深い分野で、動物の種類や状況に合う環境をつくる技術や観察力が求められることも多い。この授業では、様々な動物の繁殖のメカニズムや繁殖行動について、詳しく学習する。

※担当教員実務経験:1981年～「海の中道海浜公園 動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他獣舎や展示場の設計にも携わる。動物園における飼育技術を現場で実践。

【到達目標】

- ①動物園動物の繁殖の現状・注意点・工夫などについて理解する、各動物の繁殖のメカニズムや、不妊去勢手術のメリット・デメリットについて理解する。
- ②目標①の内容について、説明ができる。
- ③飼育現場で繁殖に適した環境づくりや、動物の行動観察ができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の目的、進め方
2回目	犬の繁殖のメカニズム①
3回目	犬の繁殖のメカニズム②
4回目	猫の繁殖のメカニズム①
5回目	猫の繁殖のメカニズム②
6回目	犬猫の不妊去勢手術のメリット・デメリットについて①
7回目	犬猫の不妊去勢手術のメリット・デメリットについて②
8回目	中間評価試験及び振り返り
9回目	振り返り②
10回目	動物園動物の繁殖の目的・特徴など(総論)
11回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について①
12回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について②
13回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について③
14回目	期末評価試験及び振り返り
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確かなものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中の解説の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておくこと目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを行うので、内容の整理に使うと効果的。繁殖に関する専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	・筆記試験:70% ・授業内評価(課題への取り組み、レポートの等):30%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編1 繁殖・飼料・病気」
- ・滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の体のしくみ(生殖器系 内分泌系)」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の繁殖 (Breeding of Animals)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	井上 龍介
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

動物の繁殖は、飼育現場で関わりの深い分野で、動物の種類や状況に合う環境をつくる技術や観察力が求められることも多い。この授業では、様々な動物の繁殖のメカニズムや繁殖行動について、詳しく学習する。

※担当教員実務経験：1981年～「海の中道海浜公園 動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他、獣舎や展示場の設計にも携わる。動物園における飼育技術を現場で実践。

【到達目標】

- ①動物園動物の繁殖の現状・注意点・工夫などについて理解する、各動物の繁殖のメカニズムや、不妊去勢手術のメリット・デメリットについて理解する。
- ②目標①の内容について、説明ができる。
- ③飼育現場で繁殖に適した環境づくりや、動物の行動観察ができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	繁殖時に多い問題や病気について(総論)①
2回目	繁殖時に多い問題や病気について(総論)②
3回目	サル類の繁殖について①
4回目	サル類の繁殖について②
5回目	草食獣の繁殖について①
6回目	草食獣の繁殖について②
7回目	中間評価試験及び振り返り
8回目	有袋類の繁殖について
9回目	鳥類の繁殖について①
10回目	鳥類の繁殖について②
11回目	家畜の繁殖について
12回目	爬虫類の繁殖について①
13回目	爬虫類の繁殖について②
14回目	期末評価試験及び振り返り
15回目	振り返り②

準備学習
時間外学習

授業内容のほとんどが初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中の解説の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておくこと目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを行うので、内容の整理に使うと効果的。繁殖に関する専門用語に関しては、その都度解説を行う。

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験:70% ・授業内評価(課題への取り組み、レポートの等):30%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】

- ・社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編1 繁殖・飼料・病気」
- ・滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の体のしくみ(生殖系 内分泌系)」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物飼育演習Ⅱ (Practice of Animal Keeping)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大牟田市動物園
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	座学水曜日4時限目

【授業の学習内容】

大牟田市動物園における動物福祉の向上を目的としたさまざまな取り組みについて学び、動物福祉について理解を深める。

※担当教員実務経験:大牟田市動物園勤務5年以上の職員が担当します。

【到達目標】

- ・動物福祉の考えや取り組みを理解することができる。
- ・動物園の広報をはじめとする、「伝える」という業務について理解することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	動物園紹介、動物福祉	6/5(水) 椎原園長
2回目	動物行動学、環境エンリッチメント	6/19(水) 河野様(Zoom)
3回目	行動分析学、ハズバンダリートレーニング	6/26(水) 河野様(Zoom)
4回目	動物園の広報	7/3(水) 富澤様
5回目	園内演習	Aクラス 7/23(火)
6回目	園内演習	
7回目	園内演習	
8回目	園内演習	Bクラス 9/10(火)
9回目	園内実習	
10回目	園内実習	
11回目	園内実習	Aクラス 7/25(木) Bクラス 9/12(木)
12回目	園内実習	
13回目	園内実習	
14回目	園内実習	
15回目	演習まとめ・質疑応答	9/18(水) 富澤様、河野様(Zoom)

準備学習 時間外学習	授業内容はノートにまとめ知識習得に努める。
---------------	-----------------------

評価方法	授業内評価(傾聴力・発言力等)50%、出席率50%
------	---------------------------

【使用教科書・教材・参考書】

参考書:動物福祉学(昭和堂)、モルモット完全飼育(誠文堂新光社)、改訂版 新・飼育ハンドブック 動物園編5(JAZA)、動物行動図説(朝倉書店)
野生動物の行動観察法(東京大学出版会)、行動分析学入門(産業図書)、プログラム学習で学ぶ行動分析学ワークブック(学苑社)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習Ⅱ (Practical Small Animal Care-Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松下 陶子
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時(1週間×2回)

【授業の学習内容】

小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を行う。
また、スチューデントティーチャーとして1年生へ飼育指導を行う。

※担当教員実務経験：インコ・オウム専門店にて約4年半の飼育経験有。繁殖にも携わる。

【到達目標】

1年生が各種動物に合った飼養管理を理解し、説明できるようになる。
相手が理解できる伝え方を身に付ける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える①
2回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える②
3回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える③
4回目	飼育管理の実践①
5回目	飼育管理の実践②
6回目	飼育管理の実践③
7回目	飼育管理の実践④
8回目	飼育管理の実践⑤
9回目	飼育管理の実践⑥
10回目	飼育管理の実践⑦
11回目	飼育管理の実践⑧
12回目	飼育管理の実践⑨
13回目	飼育管理の実践⑩
14回目	飼育管理の実践⑪
15回目	飼育管理の実践⑫、前期の振り返り
準備学習 時間外学習	授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。
評価方法	・授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力): 80% ・出席率: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習Ⅱ (Practical Small Animal Care-Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松下 陶子
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時(1週間×2回)

【授業の学習内容】

小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を行う。
また、スチューデントティーチャーとして1年生へ飼育指導を行う。

※担当教員実務経験: インコ・オウム専門店で約4年半の飼育経験有。繁殖にも携わる。

【到達目標】

1年生が各種動物に合った飼養管理を理解し、説明できるようになる。
相手が理解できる伝え方を身に付ける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える①
2回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える②
3回目	授業の流れ・注意点等説明、掃除・調餌・給餌について伝える③
4回目	飼育管理の実践①
5回目	飼育管理の実践②
6回目	飼育管理の実践③
7回目	飼育管理の実践④
8回目	飼育管理の実践⑤
9回目	飼育管理の実践⑥
10回目	飼育管理の実践⑦
11回目	飼育管理の実践⑧
12回目	飼育管理の実践⑨
13回目	飼育管理の実践⑩
14回目	飼育管理の実践⑪
15回目	飼育管理の実践⑫、前期の振り返り
準備学習 時間外学習	授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。
評価方法	・授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力): 80% ・出席率: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考書: 滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の栄養 (Animal Nutrition)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中本 教一
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

動物が必要とする栄養素と飼料に含まれる栄養素について学び、次に消化と吸収に関して動物による消化管の違いと特徴を知り、代表的な飼料の特徴を学ぶ。続いて、飼料の組み立てに必要な知識と養分計算を学び、飼料配分に取り組む。

※担当教員実務経験：酪農大学教師、肉牛の肥育を経て1982年「中本乗馬倶楽部」を設立、先代オーナー、現会長。
福岡県馬術連盟副会長、日本馬術連盟公認1級審判、全国乗馬倶楽部指導員。

【到達目標】

各栄養素についてその特徴が理解できた上で、自身で飼料の組み立てに取り組めるようにその基礎となる知識と養分計算の仕方ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の概要、目的、内容の説明。(1)飼料摂取の目的
2回目	(2)体成分と栄養素 ①体成分 ②水
3回目	(2)体成分と栄養素 ③タンパク質・必須アミノ酸
4回目	(2)体成分と栄養素 ④炭水化物 ⑤脂質
5回目	(3)体成分と栄養素 ⑥ビタミン(脂溶性ビタミンと水溶性ビタミン)
6回目	(4)体成分と栄養素 ⑥ビタミン
7回目	中間評価及び振り返り (2)体成分と栄養素 ⑦ミネラル(常量元素と微量元素)
8回目	(2)体成分と栄養素 ⑦ミネラル
9回目	(3)栄養と飼料 ①各家畜が好む飼料と消化管の特徴
10回目	(3)栄養と飼料 ②消化と吸収
11回目	(3)栄養と飼料 ②消化と吸収(消化管の構造と役割:単胃動物)
12回目	(3)栄養と飼料 ②消化と吸収(消化酵素)
13回目	(3)栄養と飼料 ②消化と吸収(反芻動物・鶏の消化管の構造と役割)
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ①飼料成分による栄養価とその特徴
準備学習 時間外学習	授業の最初に前回の振り返りをする為、各自ノートの読み返しをし、復習に努めること。
評価方法	・筆記試験:80% ・授業内評価(傾聴力・発言力):20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考プリント、プロジェクター
参考書:社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 飼料」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の栄養 (Animal Nutrition)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中本 教一
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日・4時限/5時限

【授業の学習内容】

動物が必要とする栄養素と飼料に含まれる栄養素について学び、次に消化と吸収に関して動物による消化管の違いと特徴を知り、代表的な飼料の特徴を学ぶ。続いて、飼料の組み立てに必要な知識と養分計算を学び、飼料配分に取り組む。

※担当教員実務経験：酪農大学教師、肉牛の肥育を経て1982年「中本乗馬倶楽部」を設立、先代オーナー、現会長。
福岡県馬術連盟副会長、日本馬術連盟公認1級審判、全国乗馬倶楽部指導員。

【到達目標】

各栄養素についてその特徴が理解できた上で、自身で飼料の組み立てに取り組めるようにその基礎となる知識と養分計算の仕方ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ②栄養価の表し方(タンパク質、エネルギー)
2回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ③飼料と特徴(粗飼料と濃厚飼料)
3回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ④粗飼料の種類と特徴(牧草、野草類、青刈作物他)
4回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑤粗飼料の貯蔵方法(乾草、サイレージ)
5回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑥濃厚飼料の種類と特徴(穀類、大麦、トウモロコシ)
6回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑥濃厚飼料の種類と特徴(穀類、エン麦、小麦、米、ヌカ、フスマ類)
7回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑥濃厚飼料の種類と特徴(油粕類、製造粕類、動物質飼料他)
8回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑥濃厚飼料の種類と特徴(配合飼料) ⑦飼料のスライド説明
9回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ①飼養標準 ②栄養価と単位 ③給与量
10回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ④豚の飼料給与を考える(練習例:繁殖育成豚)
11回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ⑤馬の飼料給与を考える(給与日量、飼料内容)
12回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ⑤馬の飼料給与を考える(例題問題:育成馬)
13回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ⑤馬の飼料給与を考える(成長後の馬の場合、例題問題)
14回目	後期評価及び振り返り
15回目	まとめの話
準備学習 時間外学習	授業の最初に前回の振り返りをする為、各自ノートの読み返しをし、復習に努めること。
評価方法	・筆記試験:80% ・授業内評価(傾聴力・発言力):20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考プリント、プロジェクター
参考書:社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 飼料」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	植物 (Plants)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	未定
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

動物の餌としての植物・動物園の植栽としての植物として、時勢植物や園芸植物の生態を学ぶ。

【到達目標】

- ・植物の構造を理解する。
- ・動物の餌としての植物を理解する。必要な植物、危険な植物など。
- ・動物園における展示としての植栽の利用を理解する。

授業計画・内容

1回目	授業における到達目標及び授業内容の確認、講師紹介
2回目	植物の種類、形態、分類、多様性①
3回目	植物の種類、形態、分類、多様性②
4回目	植物の無機栄養、基礎代謝、光合成①
5回目	植物の無機栄養、基礎代謝、光合成②
6回目	日本における主要な樹木について①
7回目	日本における主要な樹木について②
8回目	世界における主要な樹木について①
9回目	世界における主要な樹木について②
10回目	庭園などで栽培される植物について①
11回目	庭園などで栽培される植物について②
12回目	動物園における植栽の活用について
13回目	様々な展示方法(ランドスケープイマージョン、生態系展示など)
14回目	後期評価及び振り返り
15回目	植物に関わるまとめ

準備学習
時間外学習

授業の最初に前回の振り返りをする為、各自ノートの読み返しをし、復習に努めること。

評価方法

- ・筆記試験:80%
- ・授業内評価(傾聴力・発言力):20%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	企業プロジェクト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	村上 弘志
	(Company Project)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日・1,2時限/3,4時限

【授業の学習内容】

動物園や動物施設と共同で、イベントや企画、商品開発等を行う。プロのスタッフと共に企画運営を行い、働く上での重要な経験を得る。

※担当教員実務経験: 動物園にて、7年間飼育員兼オランウータン、チンパンジー、フラミンゴなどのトレーナーを経験。また、同時にウミガメなどの野生保護活動にも参加した。

- ・企画書が書けるようになる。
- ・実施計画書が書けるようになる。
- ・報告書がかけられるようになる。
- ・企画予算を適正に出せるようになる。
- ・PowerPointでの発表資料が作れるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	1年間の授業の流れ、滋慶学園企業プロジェクトの歴史から流れ
2回目	企業プロジェクトとは 過去の発表から企業プロジェクトを知る
3回目	「プロジェクト」とは
4回目	「プロジェクトマネジメント」とは
5回目	プロジェクトマネジメント「10」の知識エリア①
6回目	プロジェクトマネジメント「10」の知識エリア②
7回目	目標を明確にする
8回目	必要な作業を明確にする
9回目	作業の役割と所要時間を考える
10回目	計画を作成する(ガントチャート)
11回目	自分でガントチャートを作成してみよう
12回目	これまでのまとめ及び確認テスト
13回目	企業プロジェクト① 企業よりプレゼンテーション
14回目	企業プロジェクト② 各班に分かれ打ち合わせ
15回目	企業プロジェクト③ 各班に分かれ打ち合わせ
準備学習 時間外学習	動物園・水族館・他動物施設の最新情報を常にチェックすること。
評価方法	・授業内評価(出席率・グループワーク参加度・企画立案力・資料作成力・プレゼン力・制作物作成力):100%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	企業プロジェクト (Company Project)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	村上 弘志
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日・1,2時限/3,4時限

【授業の学習内容】

動物園や動物施設と共同で、イベントや企画、商品開発等を行う。プロのスタッフと共に企画運営を行い、働く上での重要な経験を得る。

※担当教員実務経験: 動物園にて、7年間飼育員兼オランウータン、チンパンジー、フラミンゴなどのトレーナーを経験。また、同時にウミガメなどの野生保護活動にも参加した。

- ・企画書が書けるようになる。
- ・実施計画書が書けるようになる。
- ・報告書がかけるようになる。
- ・企画予算を適正に出せるようになる。
- ・PowerPointでの発表資料が作れるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	企業プロジェクト④ 各班に分かれ打ち合わせ
2回目	企業プロジェクト⑤ 各班に分かれ打ち合わせ
3回目	企業プロジェクト⑥ 中間プレゼン
4回目	企業プロジェクト⑦ 各班に分かれ打ち合わせ
5回目	企業プロジェクト⑧ 各班に分かれ打ち合わせ
6回目	企業プロジェクト⑨ 最終プレゼン
7回目	準備・実施①
8回目	準備・実施②
9回目	準備・実施③
10回目	準備・実施④
11回目	準備・実施⑤
12回目	振り返り、報告書作成
13回目	パワーポイント資料作成
14回目	パワーポイント発表
15回目	1年間のまとめ

準備学習
時間外学習 動物園・水族館・他動物施設の最新情報を常にチェックすること。

評価方法 ・授業内評価(出席率・グループワーク参加度・企画立案力・資料作成力・プレゼン力・制作物作成力): 100%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	進級課題 (Level Advancement Study)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	村上 弘志
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	進級課題とは① ～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方 ～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～

準備学習
時間外学習

各自(各班)で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。

評価方法

- ・発表内容:80%
- ・課題への参加度:20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
	(Global Communication)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

知人・家族について話すことができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。毎日していることについて話すことができる。ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。今していることについて話すことができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。招待する、またそれに応えることができる。イベントへの招待を読む、また書くことができる。人生の中での過去のイベントについて話すことができる。新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。店内で欲しいものについて述べる。新しい商品の説明を読む、またVlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書くことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	所有代名詞(whose)を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	自己紹介をする。職場でのフォーマルなメールを読む、書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	習慣・ルーティンについて質問する。[Wh-question]を練習する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	繰り返しを求める表現を学ぶ。意思疎通に問題があったことを説明する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	「現在進行形」「単純現在形」を練習する。スポーツ、運動について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ。将来のプランについて話す	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	招待する、招待に応える表現を学ぶ。招待を断る理由を説明する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「プレゼントを選ぶについて」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	「過去形」(陳述文の否定形；疑問文)を復習する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	[be going to]を復習する買い物に行くことについて会話する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	店内で欲しいものについて述べる。物事の言い方を英語で聞く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習
時間外学習

授業内容の予習と復習を行うこと。

評価方法

小テストの正解率にて評価
(前期小テスト合計30回の正解率=100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

レストランで頼みたいものについて説明することができる。ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。提案をする、また提案をうけることができる。海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。意見を尋ねる、また述べる。広告を読む、また写真の説明を書くことができる。将来の予想を立てることができる。アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。したことがあること、ないことについて話すことができる。インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書くことができる。天気について話すことができる。場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	キッチンカーをデザインする「動詞型」を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	[if / when]の使い方を学ぶ。自分の町で何をするかについて話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	「問い返し疑問文」を学ぶ。提案をする、また提案をうける表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「短期旅行のプランを立てる」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	「形容詞の最高級」を学ぶ。写真に写った人について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	広告を読む、また写真の説明を書く	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	[have to]の使い方を学ぶ。職場での危険を回避することについて話す	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	[It feels like (it's like)]を使い、健康問題について話す；健康問題についてアドレスをもらう	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「リアリティ番組を計画し、発表する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	ソーシャルメディア(ネット)生まれの動詞を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	インフォグラフィックを読む、セルフィーについての短いコメントを書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	[be like]を使い、天気について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	道を聞く、道順を教える際に使う表現を学ぶ。言い改める際に使う表現を学ぶ、復習する	オンデマンド	振り返り
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習
時間外学習

授業内容の予習と復習を行うこと。

評価方法

小テストの正解率にて評価
(後期小テスト合計30回の正解率=100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE2

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	業界研修	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
	(Business Internship)	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	随時
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
- ・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
- ・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
- ・自らの「キャリア」をデザインできる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出：80% ・インターンシップ先企業からの評価表：20% これらを総合的に判断して評価

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義 & 見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・動物業界で必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
- ・動物業界で必要な人間力を理解し、身に付ける。
- ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
- ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習
・講義後もしくは見学のレポートのまとめ

評価方法

・レポート(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各イベント実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員: 各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・企画立案、運営ができるようになる。
- ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
- ・接客を知り、実践できるようになる。
- ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
- ・予算管理を実践し習得する。
- ・スケジュールリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容

1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる

評価方法	・準備: 50% ・レポート: 50%

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別課外活動 (Club Activities)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

- ・チームワークを身に付ける。
- ・計画性を身に付ける。
- ・予算管理を身に付ける。
- ・マネジメントを理解し身に付ける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

・日報や日誌、報告書を作成すること。

評価方法

・クラブ活動態度:100%

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ボランティア活動 (Volunteer Work)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員: 各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
- ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	・レポート:100%

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	村上 弘志
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。

評価方法

・資格取得、検定合格:100%

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅢ (Carrier Planning Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	村上弘志/赤岩辰則
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
 ※担当教員実務経験: 該当なし

【到達目標】

- ・セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
- ・チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
- ・卒業後の進路を考え自己のキャリアデザインに取り組む
- ・卒業課題のテーマを定め取り組む

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	クラス組織決め、クラス目標決め
2回目	セルフマネジメント(自己管理) 各自の目標決め、学園祭について
3回目	チームマネジメント① 学園祭の話し合い①、GWの過ごし方、夢を叶えた先輩たちの「行動の原則」(1年次の振り返り)
4回目	チームマネジメント② 学園祭の話し合い②、GWの振り返り(業界研修含む)
5回目	チームマネジメント③ 学園祭の話し合い③、グループワーク
6回目	「キャリアデザイン」① 学園祭の話し合い④、合同企業説明会Ⅰ 企業研究準備
7回目	「キャリアデザイン」② 学園祭の話し合い⑤、合同企業説明会Ⅱ エントリーシート準備
8回目	「キャリアデザイン」③ 学園祭の振り返り～自身の関わり方と業界研修への姿勢について、
9回目	「キャリアデザイン」④ 合同企業説明会Ⅲ 振り返り(グループワーク)
10回目	「キャリアデザイン」⑤ 合同企業説明会Ⅳ グループワーク発表
11回目	「キャリアデザイン」⑥ クラス目標確認～クラス、個人～
12回目	「キャリアデザイン」⑦ スポーツフェスタ準備活動①、夏季業界研修準備
13回目	「集団での役割」の理解と実践① 夏季業界研修振り返り、スポーツフェスタ準備活動②
14回目	評価週、前期の振り返り及び後期に向けて、スポーツフェスタ準備活動③
15回目	「集団での役割」の理解と実践② スポーツフェスタ準備活動④

- 準備学習
時間外学習
- ・日々の学校生活を記録に残す
 - ・動物業界を知る
 - ・動物施設での校外学習に参加する
 - ・事前課題など各種レポートを書く

- 評価方法
- ・集団(クラス)での役割の理解と実践: 50%
 - ・授業参加状況: 30%
 - ・期末試験: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・学生便覧
- ・新社会人の基礎力109(滋慶出版)
- ・Hand—book of Life Style

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅢ (Carrier Planning Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	村上弘志/赤岩辰則
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
 ※担当教員実務経験:該当なし

【到達目標】

- ・セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
- ・チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
- ・卒業後の進路を考え自己のキャリアデザインに取り組む
- ・卒業課題のテーマを定め取り組む

授業計画・内容

1回目	「キャリアデザイン」⑧ 後期の目標設定、スポーツフェスタの振り返り
2回目	「キャリアデザイン」⑨ WeareECO(企業プロジェクト)について①
3回目	「キャリアデザイン」⑩ WeareECO(企業プロジェクト)について②、新社会人基礎力①
4回目	「キャリアデザイン」⑪ WeareECO(企業プロジェクト)について③、新社会人基礎力②
5回目	「キャリアデザイン」⑫ WeareECO(企業プロジェクト)について④、新社会人基礎力③
6回目	「キャリアデザイン」⑬ WeareECO(企業プロジェクト)について⑤、新社会人基礎力④
7回目	卒業課題制作① WeareECO(企業プロジェクト)課題のテーマに沿った取り組みを行うⅠ
8回目	卒業課題制作② WeareECO(企業プロジェクト)課題のテーマに沿った取り組みを行うⅡ
9回目	卒業課題制作③ WeareECO(企業プロジェクト)課題のテーマに沿った取り組みを行うⅢ
10回目	卒業課題制作④ WeareECO(企業プロジェクト)課題のテーマに沿った取り組みを行うⅣ
11回目	卒業課題制作⑤ WeareECO(企業プロジェクト)課題のテーマに沿った取り組みを行うⅤ
12回目	卒業課題制作⑥ WeareECO(企業プロジェクト)クラス内発表リハーサル
13回目	今年の目標～個人目標発表～
14回目	卒業課題制作⑦ WeareECO(企業プロジェクト)最終発表
15回目	3年間の振り返り～卒業、就職に向けて～

**準備学習
時間外学習**

- ・日々の学校生活を記録に残す
- ・動物業界を知る
- ・動物施設での校外学習に参加する
- ・事前課題など各種レポートを書く

評価方法

- ・集団(クラス)での役割の理解と実践:50%
- ・授業参加状況:30%
- ・期末試験:20%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・学生便覧
- ・新社会人の基礎力109(滋慶出版)
- ・Hand-book of Life Style

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ホスピタリティ (Hospitality)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

前期講義で習得したものをさらにワンランク上の知識やスキルを身につけ、ホスピタリティを拠り所としたよりきめ細かく幅広い実務と教養を学びます。

※担当教員実務経験: 専門学校にて、ビジネスマナー、ホスピタリティ、就職講座など幅広く担当している。

【到達目標】

- ①前期講義で習得したものを更にワンランク上の知識やスキルを身につけることができる。
- ②実社会におけるホスピタリティ・マインドの重要性を認識し、社会人として通用する心構えを構築することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション : 講義の説明 2年次後期の振り返り
2回目	ホスピタリティを実践するための3つのステップを踏まえ「気くばり」について理解することができる
3回目	「気くばり」に必要な具体的な手法を知り、顧客満足度を上げることができる
4回目	ワンステップ上の挨拶の実践によりパーソナル・サービスに生かすことができる
5回目	気くばりのあるコミュニケーション(対応力、傾聴力、褒め上手)でお客様のご要望がわかる
6回目	リピーター、ロイヤルカスタマーを生む対応力について理解することができる
7回目	「心くばり」に必要な手法を知り、お客様や周囲の状況を把握し必要に応じたコミュニケーションを図ることができる
8回目	お客様とのやり取りの中で、ニーズの先読みをし、最適な準備や柔軟な対応をすることができる
9回目	お客様からの要望やクレームに対し、お客様の心理に寄り添ったコミュニケーションを図ることができる
10回目	お客様により良いサービスを提供するために組織のホスピタリティについて理解することができる
11回目	ホスピタリティを実践している企業を取り上げ、経営理念・ビジョンなどお客様や社会に提供している価値について理解することができる【グループワーク】
12回目	ホスピタリティを実践している企業を取り上げ、経営理念・ビジョンなどお客様や社会に提供している価値について理解することができる【発表】
13回目	評価試験対策
14回目	評価試験
15回目	前期講義の振り返り

準備学習
時間外学習

事前学習では、シラバスを読み講義概要を確認すること。
時間外学習では、講義を理解するために講義内容を見直しあいまいな点は質問できるように整理すること。
また、新たな気づきなどをノートにまとめておくこと。

評価方法

- ・試験: 80%
- ・平常点: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

【使用参考書】 図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	SDGs	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	一般社団法人日本SDGs協会 三浦徹志
	(Sustainable Development Goals)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	水曜日・3時限/4時限

【授業の学習内容】

世界人口(80億人)と穀物・肉類の需給、資源の確保、気象など一国では解決できない私たちが地球上で生きていくための課題やたくさんのハードルがあります。前期はSDGsの目標と各国の様子、後期はSDGsの活動(民間のSDGs経営)を調べます。安全に生命を維持するためには住む場所、健康、働ける公正な経済社会が必要。言葉や法律、科学の学習も必須。世界の協力が大切です。また、自然環境、湿地や湖沼・森林・熱帯雨林・農地・海洋などを大事にし、熱や水の安定した循環と生物多様性が土台です。温室効果ガス、廃プラ、地震や山火事等の災害、また国際紛争、エネルギー・食糧価格、貧困・飢餓など社会的弱者への対策も。多くの脆弱さ(ぜいじゃくさ:もろさ)を乗り越えるために193の国々が(国連で)17個の目標を宣言・約束しました。それがSDGsです。この授業ではSDGsの基礎を学び、これらを世界規模で解決する方法を学びます。

※担当教員実務経験:大学、日本SDGs協会にて若者や社会人のSDGs活動の支援に従事

【到達目標】

①SDGsのねらいと行動・アクション、方法を理解する。「国づくり、制度づくり、経済の回転」に興味を持つ。国際会議、国際法「海洋法条約」や「森林原則(UNCED)」「ラムサール条約」「ワシントン条約」などを知る。日本政府が持続可能な社会を目指して《骨太の方針》に掲げるSDGs計画「脱炭素社会の実現。Scope1,2,3」「自然環境・動物保護」「エネルギー基本政策」「人材育成・子育て・若者支援」「食糧安保」など重点政策をチェックし進路にも役立てましょう。②世界は自然、社会、経済という3つの側面からとらえられることを実感する。自然を土台に共同体社会、街や制度・ルールができ、安全に経営し、安心して働き、暮らせることを考えましょう。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	4/17対面授業 シラバスの説明。基本解説:SDGsの成り立ちと目的。取り組み方(SDGsコンパス、バックキャストの方法)を紹介。
2回目	4/24オンライン 歴史とSDGs:博多湾、板付遺跡等から学ぶ3千年前の古代文明と今日までの人間の暮らし。太陽を中心とした暦と農耕。世界の文明
3回目	5/8対面授業〔校外演習:博多湾見学・調査〕九州の文化とSDGs:歴史と役割。自然環境・立地、海の状態。開かれた港湾と交通、都市の発達
4回目	5/15オンライン 生活三面とSDGs:「環境(太陽、水、穀物、土と生き物)」「社会(国家と地方、制度、納税、サービス)」「経済(営業の自由、労働、生産と消費)」
5回目	5/22オンライン ①博多湾調査で得た知見・情報の整理②インターネットで統計データ・数値を収集。貨物、旅客航路・運輸、漁港、観光事業実績
6回目	5/29対面授業 ①博多湾・板付遺跡の小レポート作成:分かったこと、気づいたこと。②レポートの書き方:サンプル指導。項目、記録、章立て、考察
7回目	6/5オンライン 〈中間テスト〉 レポート完成、発表、提出。(九州の歴史、地形、交流、サステナブルな文明に触れる)
8回目	6/19オンライン 世界とSDGs:世界の国々の比較(データランキング)文化、経済規模。GDP、人口、石油埋蔵量、貿易量、ジェンダーギャップ等
9回目	6/26オンライン 世界の国々 ①アフリカ:エジプト共和国、南アフリカ共和国、ガーナ共和国、コートジボワール、スーダン 産業、歴史、都市、政治、文化
10回目	7/3オンライン ②アフリカ:ケニア共和国、エチオピア連邦、中央アフリカ共和国、ルワンダ共和国、コンゴ共和国
11回目	7/10オンライン SDGsゴールの学習:G1.貧困をなくそう G2.飢餓ゼロ;食料安全保障・農業促進 G3.すべての人に健康と福祉を
12回目	7/17オンライン ③中東(西アジア):シリア共和国、イスラエル国、パレスチナ自治政府、サウジアラビア王国、イラク王国、イラン・イスラム共和国、アフガニスタン共和国
13回目	8/28オンライン ④アジア・オセアニア・南アメリカ:フィリピン等、オーストラリア、ベネゼイラ共和国、コロンビア、チリ、アルゼンチン、パラグアイ共和国、ブラジル共和国。パナマ、ハイチ
14回目	9/4オンライン 期末テスト 8-13回で得た知識をもとにレポートを作成する。(その国の問題点。要点の整理と気づき、意見を述べる)
15回目	9/11対面授業 まとめ レポート提出。学習内容から関心・興味を持ったこと、得た知識、現実の世の中を振り返る。ポイントと理解。

準備学習
時間外学習 授業で出される課題の予習復習

評価方法
・筆記試験(レポート):60%
・実技試験(授業中の調べ学習、テキストの要点把握と発表の工夫、努力):30%
・授業態度(積極性、聴く態度、他の受講生への協力など):10%

【使用教材・参考書】

「60分でわかる!SDGs超入門」ハワード著 機能聡子・佐藤寛監修 技術評論社刊、「世界の国々」朝日新聞出版編著、「これでわかる!SDGs」(株)大創産業編集発行
「地球環境問題がよくわかる本」浦野紘平他著オーム社

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	SDGs	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	一般社団法人日本SDGs協会 三浦徹志
	(Sustainable Development Goals)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業と遠隔授業の併用			曜日・時限	水曜日・3時限/4時限

【授業の学習内容】

エス・ディー・ジーズ(SDGs)は、私たちが地球上で生きていくための課題、たくさんのハードルがあります。世界人口(80億人)と穀物・肉類の需給、資源の確保、気象など一国では解決できません。前期はSDGsの目標と各国の様子、後期はSDGsの活動(民間のSDGs経営)を調べましょう。安全に生命を維持するためには住む場所、健康、働ける公正な経済社会が必要。言葉や法律、科学の学習も必須。世界の協力が大切です(国際法、IMFなどの国際機関)。自然環境、湿地や湖沼・森林・熱帯雨林・農地・海洋などを大事にし、熱や水の安定した循環と生物多様性が土台です。温室効果ガス、廃プラ、地震や山火事等の災害、また国際紛争、エネルギー・食糧価格、貧困・飢餓など社会的弱者への対策も。多くの脆弱さ(ぜいじゃくさ:もろさ)を乗り越えるために193の国々が(国連で)17個の目標を宣言・約束しました。それがSDGs「誰一人取り残さない持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」。授業では文明を3千年遡って考えましょう。暦を作り農業や産業を興しました。一方大量消費、市場取引による富のかたよりの大きくなりました。

※担当教員実務経験: 大学、日本SDGs協会では若者や社会人のSDGs活動の支援に従事

【到達目標】

自身のSDGs計画案を作成でき発表できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ガイダンスと学習開始。 8.経済成長と働きがい 事例:福島県向山製作所
2回目	〈ゴールの学習〉 9.産業育成・技術イノベーション 事例:石川県会宝工業株式会社
3回目	〈ゴールの学習〉 9.産業育成・技術イノベーション 事例:東京都協同組合Foword
4回目	〈ゴールの学習〉 17.パートナーシップ 事例:沖縄県黒糖協同組合
5回目	〈ゴールの学習〉 17.パートナーシップ 事例:徳島県海部郡美波町あわせ株式会社
6回目	〈ゴールの学習〉 4.質の高い教育確保・生涯学習
7回目	中間テスト 6回目までに学んだ知識をもとにテストを行う。
8回目	〈ゴールの学習〉 5.ジェンダー平等の達成・女性と女兒の能力強化、16.持続可能な開発のための平和促進、法制度
9回目	SDGsと経済・経営の関係 自由経済、競争と市場の仕組み。企業の利益、業績。CSR(社会的責任)とCSV(経済と社会の共通価値創造)、ESG投資。
10回目	環境省、COP(コップ)21・IPCC(気候変動枠組み)、UNDP(国連開発機構)、CDP(英国の評価団体)ほか関係組織からの情報収集の方法など、応用を学ぶ。
11回目	SDGsの実践 バックキャスティング(未来を起点に今することを決める) アドベンチャーワールド、トヨタ自動車、味の素、リコーなどの例
12回目	各自のワーク。タブレットでSDGs計画の作成(情報集め、まとめ、発表(プレゼンテーション)の練習、ほかの人とコミュニケーションする)。
13回目	各自のワーク。タブレットでSDGs計画の作成(情報集め、まとめ、発表(プレゼンテーション)の練習、ほかの人とコミュニケーションする)。
14回目	期末テスト 今までにワークの成果をまとめて提出する(自分の観点で「SDGs活動計画」を作成しレポート提出)。
15回目	後期に学習した内容から、重点となる項目、知識、考え方を振り返り、ポイントを整理し、理解を深める。

準備学習
時間外学習

毎授業で出される課題の予習復習

評価方法

- ・筆記試験(レポート): 60%
- ・実技試験(授業中の調べ学習、テキストの要点把握と発表の工夫、努力): 30%
- ・授業態度(積極性、聴く態度、他の受講生への協力など): 10%

【使用教科書・教材・参考書】

「60分でわかる! SDGs超入門」バウンド著 機能聡子・佐藤寛監修 技術評論社刊

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	デジタルコンテンツ演習	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	坂井 隆仁
	(Digital Content Development Practice)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・3時限/火曜日4時限/金曜4時限

【授業の学習内容】

パソコンを使う事で自己学習方法を身に付けてもらいます。自己学習方法を身に付けるツールとしてオフィスをメインで使用します。理解が深まった中で必要なITリテラシーを学び自己実現を目指して下さい。

※担当教員実務経験:

営業、Webディレクター、フライダルサービス、PA、カフェ運営の現場で様々なスキルを身に付けた講師として、パソコンの実務的な使い方を学習していきます。授業終了時には、自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていきます。

【到達目標】

どんな場面で、どのツールを使えばいいか自分で考える事ができ、解らないことは自分で学習できるようになる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、スキルチェック、Googleドライブを使えるようになる
2回目	【PowerPoint①】インターネットから画像をダウンロードし、加工し合成ができるようになる。他タイピング練習
3回目	【PowerPoint②】文字入力、スライドのデザインができるようになる。著作権について理解できるようになる。他タイピング練習
4回目	【PowerPoint③】アニメーションをつけ動きのあるスライドを作成できるようになる。他タイピング練習
5回目	【Word①】基礎的な機能を使いビジネス文章を作る事ができるようになる。SNS有効な活用方法について。他タイピング練習
6回目	【Word②】画像、表を使いビジネス文章を作る事ができるようになる。他タイピング練習
7回目	【Excel①】数値入力ができ、表を作る事ができるようになる。他タイピング練習
8回目	【Excel②】四則演算ができるようになる。他タイピング練習
9回目	【Excel③】見積書など実務に近い内容が作れるようになる。他タイピング練習
10回目	【Excel④】関数について理解し、必要な場面で使えるようになる。他タイピング練習
11回目	共有の仕方について理解し、グループで制作物を作れるようになる。他様々なアプリケーションやフリー素材の紹介。
12回目	【課題①】グループを作り共有を使いながら作業分割をして課題作成（内容は授業中に指示します。）
13回目	【課題②】グループを作り共有を使いながら作業分割をして課題作成（内容は授業中に指示します。）
14回目	【課題発表①】人前で話す事が出来るようになる。他の人が作った作品を見て知識を深める事ができるようになる。
15回目	【課題発表②】人前で話す事が出来るようになる。他の人が作った作品を見て知識を深める事ができるようになる。

準備学習
時間外学習

授業時間だけでは使える様にはなりません。
授業時間外でどれだけパソコンを触り、疑問に思うかがスキルアップの近道です。
予習復習を是非して下さい。
そして、身近にある物にコレはどの様に作っているのか興味を持ってください。
自分だったらこんな風に作るのになど、考える事をしてみて欲しいです。

評価方法 出席点:60% 課題提出:40%

【使用教科書・教材・参考書】

課題資料を配布します。

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	デジタルコンテンツ演習 (Digital Content Development Practice)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	坂井 隆仁
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日・3時限/火曜日4時限/金曜日4時限

【授業の学習内容】

パソコンを使う事で自己学習方法を身に付けてもらいます。自己学習方法を身に付けるツールとしてオフィスをメインで使用します。理解が深まった中で必要なITリテラシーを学び自己実現を目指して下さい。

※担当教員実務経験:

営業、Webディレクター、プライダルサービス、PA、カフェ運営の現場で様々なスキルを身に付けた講師として、パソコンの実務的な使い方を学習していきます。

授業終了時には、自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていきます。

【到達目標】

どんな場面で、どのツールを使えばいいか自分で考える事ができ、解らないことは自分で学習できる様になる。

授業計画・内容

1回目	動画編集:環境整備、静止画を使った動画作成、アニメーションを使える様になる。
2回目	動画編集:動画を使った動画作成、カット、文字入れができる様になる。書き出しできる様になる。
3回目	動画課題①:1分間の動画作成(テーマ:各自で決めてもらいます。)
4回目	動画上映会:各自作成した動画の上映会をします。なぜこのテーマにしたのか、こだわりポイントをみなさんに解説してもらいます。
5回目	SNS(インスタ)への投稿、商業利用時の注意点と著作権について、他SNSでのトラブル紹介
6回目	撮影練習:撮影する上での注意点、テクニックを説明したのち、各自撮影体験をする。
7回目	動画課題②-1:1分間の動画作成(テーマ:動物紹介)今まで使った技を使い自由に動画作成
8回目	動画課題②-2:1分間の動画作成(テーマ:動物紹介)今まで使った技を使い自由に動画作成
9回目	動画上映会:各自作成した動画の上映会をしSNSに投稿
10回目	動画上映会:各自作成した動画の上映会をします。なぜこのテーマにしたのか、こだわりポイントをみなさんに解説してもらいます。
11回目	DTP① クリスマスイベントのチラシ作成 RGBとCMYKの違いについて
12回目	DTP② チラシ制作 紙の種類やサイズについて
13回目	DTP③ ログ制作、名刺制作
14回目	ホームページ制作① ペライチを使いホームページの作り方を学習 Webの仕組みについて
15回目	ホームページ制作② テーマ別のホームページ作成
準備学習 時間外学習	授業時間だけでは使える様にはなりません。 授業時間外でどれだけパソコンを触り、疑問に思うかがスキルアップの近道です。 予習復習を是非して下さい。 そして、身近にある物にコレほどの様になっているのか興味を持ってください。 自分だったらこんな風に作るのになと、考える事をしてみて欲しいです。
評価方法	出席点:60% 課題提出:40%

【使用教科書・教材・参考書】

課題資料を配布します。

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物関連法規	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	津田 堅之介
	(Animal Related Laws and Regulations)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日・3時限/4時限

【授業の学習内容】

法律という難解なイメージがあると思いますので、津田作成の資料と一般のニュースでも取り上げられた事例、そして取り上げられた番組の映像を基に分かりやすく説明。また、毎年現状に合わせて変更が行われる場合があるため、最新の内容を伝えるのみならず、今後も自分で最新情報が得られる方法を理解できるよう指導していきます。

※担当教員実務経験：1985年よりフリーランスの野生動物調査員として環境アセスメントやワイルドライフマネジメント、鳥類や哺乳類そして両棲爬虫類の調査業務に携わる。津田堅之介生物生態写真研究所を設立し、国内外の野生動物をテーマとした環境教育活動も行っている大分県二ホンカモシカ調査員、世界文化遺産五島列島野崎島非常勤学芸員

【到達目標】

動植物飼育のプロフェッショナルとして業務上動物とかかわっていくためのみならず、実生活を送る上においても必要不可欠な動物に関連する法律の知識を身に付け、動植物の飼育管理と販売を行う際に特に必要な、動物愛護管理法、外来生物管理法そして国際取引を行うために必要なワシントン条約、国内では根絶されたものの輸入された動物から発症する恐れのある狂犬病に関して理解し、万が一の場合でも冷静沈着に対応出来るよう、そして自分自身が法を犯さないことはもちろんのこと、周りの一般の方々にも分かりやすく法律を理解浸透させられるようになることを目指します

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	これから学んでいく法律と、動物の飼育や野生動物と接する上でなぜ法律を定める必要があるのかを、DVDと最近話題のニュースを見ながら解説
2回目	野生動物とかかわり、動物を飼育する際に関係する法律総論
3回目	動物の愛護と管理に関する法律の違反によって起こったニシキヘビ逃走事件のニュース番組で法律の大切さを認識する
4回目	動物の愛護と管理に関する法律、基本原則から動物取扱業者に関する解説まで
5回目	動物の愛護と管理に関する法律、特定動物と改正された最新情報と違反事例
6回目	特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律が定められた理由を理解するため、現在各地での外来種による影響を紹介した番組を鑑賞
7回目	特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律解説Part1
8回目	特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律解説Part2. 罰則と飼育が許可される例外と手続きの方法
9回目	特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律解説Part3. アライグマを始めとする駆除を行う場合のルールについて動画を見ながら解説
10回目	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する(ワシントン)条約」についてPart1
11回目	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する(ワシントン)条約」についてPart2
12回目	狂犬病予防法についてPART1 患者の記録動画や犬の症状の動画を見て、狂犬病という病気について解説
13回目	狂犬病予防法についてPART2 海外に出かけた時の注意点と国内で確認された場合の対応を解説
14回目	前期末テスト
15回目	前期末テスト返却と解説

準備学習 時間外学習

普段から動物に関連する法律や事件の情報を集め、まず自分が理解して一般に方々に分かりやすく解説出来るようになって欲しいと思います。特にペットショップや国際取引を業務として行う人には絶対に必要な知識です。また、種の保存法や外来生物防除法は法人が違反すると罰金が一億円と高額ですので、自分の職場を潰すことになることに繋がることもあることを理解して、身近なところで違反していないかも考えて欲しいと思います

評価方法

- ・中間テスト:20%
- ・期末テスト:70%
- ・授業中の態度:10%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・講師オリジナル資料(写真・DVD)
- ・最新記事も入れたオリジナルテキスト資料
- ・ECO動物・自然関係法規テキスト(滋慶出版)

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習Ⅲ (Practical Small Animal Care-Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	松下 陶子
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	不定期

【授業の学習内容】

オープンキャンパスや移動動物園での動物を介した授業またはイベントの企画立案から運営までを行う

※担当教員実務経験: インコ・オウム専門店にて約4年半の飼育経験有。繁殖にも携わる。

【到達目標】

- ・お客様(来校者)が楽しめる、学べる為の動物を介したイベントの企画立案から運営までできるようになる
- ・お客様(来校者)への円滑なコミュニケーションを図ることができる
- ・動物の正しい扱い、運搬方法、展示方法を実践できる
- ・チームで働く(協働)ことができるようになる
- ・ホスピタリティマインドを発揮できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の趣旨、流れ、注意点等説明
2回目	【個人ワーク】企画を練る
3回目	【グループワーク】企画を練る①
4回目	【グループワーク】話し合い①
5回目	【グループワーク】プレゼン
6回目	【グループワーク】話し合い②
7回目	【グループワーク】プレゼン
8回目	【グループワーク】企画最終決定
9回目	体験授業orイベントの準備①
10回目	体験授業orイベントの準備②
11回目	体験授業orイベントの実践①
12回目	体験授業orイベントの実践①
13回目	体験授業orイベントの振り返り①
14回目	体験授業orイベントの振り返り②
15回目	体験授業orイベントの振り返り③及び前期の振り返り

準備学習
時間外学習

授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。

評価方法

- ・授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力): 80%
- ・出席率: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考書: 滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習Ⅲ (Practical Small Animal Care-Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	松下 陶子
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	不定期

【授業の学習内容】

オープンキャンパスや移動動物園での動物を介した授業またはイベントの企画立案から運営までを行う

※担当教員実務経験: インコ・オウム専門店にて約4年半の飼育経験有。繁殖にも携わる。

【到達目標】

- ・お客様(来校者)が楽しめる、学べる為の動物を介したイベントの企画立案から運営までできるようになる
- ・お客様(来校者)への円滑なコミュニケーションを図ることができる
- ・動物の正しい扱い、運搬方法、展示方法を実践できる
- ・チームで働く(協働)ことができるようになる
- ・ホスピタリティマインドを発揮できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の趣旨、流れ、注意点等説明
2回目	【個人ワーク】企画を練る
3回目	【グループワーク】企画を練る①
4回目	【グループワーク】話し合い①
5回目	【グループワーク】プレゼン
6回目	【グループワーク】話し合い②
7回目	【グループワーク】プレゼン
8回目	【グループワーク】企画最終決定
9回目	体験授業orイベントの準備①
10回目	体験授業orイベントの準備②
11回目	体験授業orイベントの実践①
12回目	体験授業orイベントの実践①
13回目	体験授業orイベントの振り返り①
14回目	体験授業orイベントの振り返り②
15回目	体験授業orイベントの振り返り③及び1年間の振り返り

準備学習
時間外学習

授業終了後に報告書を作成し、内容を振り返る。また、次回授業に向け目標を立てること。

評価方法

- ・授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力): 80%
- ・出席率: 20%

【使用教科書・教材・参考書】

参考書: 滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の飼養管理」、「イラストで見る動物の体のしくみ」
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	企業プロジェクト (Company Project)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山本 雅一
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日・2,3時限/4,5時限

【授業の学習内容】

動物園や動物施設と共同で、イベントや企画、商品開発等を行う。プロのスタッフと共に企画運営を行い、働く上での重要な経験を得る。

※担当教員実務経験:ふれあい動物園ピクニカ共和国 園長。園内での動物園業務だけでなく、移動動物園も年間を通して多数実施。動物の飼育だけでなくロープワークや工具の知識、動物園運営の知識も豊富。

- ・企画書が書けるようになる。
- ・実施計画書が書けるようになる。
- ・報告書がかけるようになる。
- ・企画予算を適正に出せるようになる。
- ・PowerPointでの発表資料が作れるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	2年次の振り返り
2回目	今年度の取り組みについて目標
3回目	企画書作成 企業プロジェクトを選定し、企画書を作成する
4回目	企業よりプレゼンテーション
5回目	プレゼンを基に各班に分かれグループワーク①
6回目	プレゼンを基に各班に分かれグループワーク②
7回目	調査・企画立案①
8回目	調査・企画立案②
9回目	調査・企画立案③
10回目	調査・企画立案④
11回目	企業様へプレゼンテーション①
12回目	企画・立案①
13回目	企画・立案②
14回目	企画・立案③
15回目	中間発表及び前期評価

準備学習
時間外学習 動物園・水族館・他動物施設の最新情報を常にチェックすること。

評価方法
・授業内評価(出席率・グループワーク参加度
・企画立案力
・資料作成力・プレゼン力・制作物作成力): 100%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	卒業課題 (Graduation Study)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	村上 弘志
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限
		実施方法	対面授業				

【授業の学習内容】

学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が卒業に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。

【到達目標】

学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	卒業課題とは① ～卒業課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	卒業課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	卒業課題の進め方 ～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表、振り返り
14回目	最終発表
15回目	卒業課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～

準備学習
時間外学習

各自(各班)で意見交換を随時行う。また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。

評価方法

- ・発表内容:80%
- ・課題への参加度:20%

【使用教科書・教材・参考書】

専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	企業プロジェクト (Company Project)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山本 雅一
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日・2,3時限/4,5時限

【授業の学習内容】

動物園や動物施設と共同で、イベントや企画、商品開発等を行う。プロのスタッフと共に企画運営を行い、働く上での重要な経験を得る。

※担当教員実務経験：ふれあい動物園ピクニカ共和国 園長。園内での動物園業務だけでなく、移動動物園も年間を通して多数実施。
動物の飼育だけでなくロープワークや工具の知識、動物園運営の知識も豊富。

- ・企画書が書けるようになる。
- ・実施計画書が書けるようになる。
- ・報告書がかけるようになる。
- ・企画予算を適正に出せるようになる。
- ・PowerPointでの発表資料が作れるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	企業様へプレゼンテーション②
2回目	ブラッシュアップ①
3回目	ブラッシュアップ②
4回目	企業様へ最終プレゼンテーション③
5回目	準備・実施①
6回目	準備・実施②
7回目	準備・実施③
8回目	準備・実施④
9回目	準備・実施⑤
10回目	準備・実施⑥
11回目	振り返り、報告書作成
12回目	パワーポイント資料作成
13回目	パワーポイント発表
14回目	1年間のまとめ
15回目	3年間のまとめ、及びこれからの目標発表

準備学習
時間外学習 動物園・水族館・他動物施設の最新情報を常にチェックすること。

評価方法
・授業内評価(出席率・グループワーク参加度
・企画立案力
・資料作成力・プレゼン力・制作物作成力): 100%

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	ILC国際語学センター
	(Global Communication)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員: 英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	個人の情報(ライフステージ)に関する表現を学ぶ 間接疑問文を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	段落を意識したメールの読み方、書き方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	スマホやPCの機能に関する表現を学ぶ [already/yet]を用いた現在完了形を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	ネット広告の読み方、書き方を学ぶ 代名詞としてのoneの使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	公共交通機関に関する単語を学ぶ 助動詞[would/could/should]を使った提案の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	求人広告を読み、志望動機の書き方を学ぶ 大文字やピリオドなど、基本的なルールを学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	中間試験	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	意見や反応を示す単語を学習する [be going to/will]を使った未来についての表現を学ぶ	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	語頭の/p/の発音を学ぶ。安心させる言葉、またその反応を学ぶ [at least]を用いた表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	ものを失くす、見つける際の表現を学ぶ 単純過去形の使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	驚きを表す際の発音(ストレス)を学ぶ 驚いたことを示す、リアクションに関する表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	都会の問題に関する表現を学ぶ 数量詞について学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	語末のyの発音を学ぶ。様々な状況での心配、また安心を示す際の表現を学ぶ [though]を使った反対意見の述べ方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	U4-6の振り返り	オンデマンド	振り返り
15回目	期末試験解説、後期に向けて	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習
時間外学習

授業内容の予習と復習を行うこと。

評価方法

小テストの正解率にて評価
(後期小テスト合計30回の正解率=100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE3

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	ILC国際語学センター
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	TV番組や映画に関連する表現を学ぶ [(not) as...as]を用いた比較の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	映画のレビューを読み、書き方を学ぶ 映画に関する意見を述べる表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	進捗を表す表現を学ぶ 現在完了形と現在完了進行形について学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	タイムマネジメントについての投稿を読む 物事が起こった際の時間を表す表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	雇用、仕事に関する表現を学ぶ 助詞[can't, must not]を使った許可・禁止の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	履歴書を読む 履歴書の要点、構成を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	中間試験	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	材質に関する単語を学ぶ 単純現在形の受動態について学ぶ	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	/u/, /ʊ/, /aʊ/の発音を学ぶ。他人の選択に関して質問する際の表現を学ぶ [Now that I think...]などを用いた考えを変える際の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	句動詞[work out, set up, など]の表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	/ʃ/, /θ/の発音を学ぶ。了承を得る、了承を求める際の表現を学ぶ 言葉を和らげる表現[I guess/I feel like]を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	事故に関する表現を学ぶ 不定代名詞について学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	語末のedの発音を学ぶ。自分の感情を述べる、相手の感情を尋ねる表現を学ぶ [in the end] / "after all that"]の使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	U10-12の振り返り	オンデマンド	振り返り
15回目	期末試験解説、レベルB+に向けて	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて

準備学習
時間外学習

授業内容の予習と復習を行うこと。

評価方法

小テストの正解率にて評価
(後期小テスト合計30回の正解率=100%で計算)

【使用教科書・教材・参考書】

EVOLVE3

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	業界研修 (Business Internship)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験：研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
- ・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
- ・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
- ・自らの「キャリア」をデザインできる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会

準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出：80% ・インターンシップ先企業からの評価表：20% これらを総合的に判断して評価

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義 & 見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・動物業界に必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
- ・動物業界に必要な人間力を理解し、身に付ける。
- ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
- ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習
・講義後もしくは見学のレポートのまとめ

評価方法

・レポート(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

キャリアセンターの参考情報

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各イベント実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・企画立案、運営ができるようになる。
- ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
- ・接客を知り、実践できるようになる。
- ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
- ・予算管理を実践し習得する。
- ・スケジュールリングを理解し、実践できる。

授業計画・内容

1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

- ・各自、目的に沿った案を考える
- ・イベント後レポートにまとめる

評価方法

- ・準備：50%
- ・レポート：50%

【使用教科書・教材・参考書】

過去のイベント資料

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別課外活動 (Club Activities)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	動物園・動物飼育専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。

【到達目標】

- ・チームワークを身に付ける。
- ・計画性を身に付ける。
- ・予算管理を身に付ける。
- ・マネジメントを理解し身に付ける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

・日報や日誌、報告書を作成すること。

評価方法

・クラブ活動態度:100%

【使用教科書・教材・参考書】

・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ボランティア活動 (Volunteer Work)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。

※担当教員: 各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。
- ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。

授業計画・内容

1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	・レポート:100%

【使用教科書・教材・参考書】

過去のボランティア活動報告書

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	村上 弘志
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。

【到達目標】

・各検定試験、資格試験の合格

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。

評価方法

・資格取得、検定合格:100%

【使用教科書・教材・参考書】

過去の各検定、資格教本

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

※担当教員実務経験:就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習
時間外学習

業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめること。

評価方法

・日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う:100%

【使用教科書・教材・参考書】

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

※担当教員実務経験: 就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。
2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excellにまとめること。

評価方法

・課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する:100%

【使用教科書・教材・参考書】

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Graduate Assignment for Prospective Employees)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

※担当教員実務経験：就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
---------------	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画・立案力: 30% ・プレゼンテーション力: 30% ・実践力: 40% 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

--	--